

# 消 防 年 報

平成30（2018）年版



柏 崎 市 消 防 本 部

令和元（2019）年発行

# は し が き

この年報は、柏崎市消防本部の現況を広く一般に紹介するために編集したものです。この資料を一つの参考として、一層の御支援と御協力を賜れば幸甚に存じます。

なお、統計表に「年」とあるのは歴年（平成30年1月1日～12月31日）、「年度」とあるのは会計年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）、「平成31.4.1」とあるのは平成31年4月1日現在を表すもの、「4.1」とあるのは各年の4月1日現在を表すものです。

令和元（2019）年 7月

柏崎市消防本部

## 目 次

### 【総 括】

1	位置及び地勢	1
2	柏崎消防の沿革	1
3	歴代消防長・消防署長	8
4	管内図	10

### 【総 務】

1	消防本部・消防署機構図	11
2	消防本部の分掌事務	12
3	消防署の分掌事務	13
4	消防庁舎の現況	14
5	消防事務の財政	
(1)	消防費決算状況	15
(2)	人口及び世帯に対する決算割合	15
6	消防職員調	
(1)	階級別調	16
(2)	在職年数調	17
(3)	年齢調	18
(4)	職員の階級別比較	19
7	消防力の基準と現有消防力の比較	20
8	消防吏員表彰状況	21
9	消防本部・署に勤務する職員の 特殊勤務手当支給基準	22
10	消防職員の特殊技能その他取得状況調	23
11	消防職員研修受講状況	24
12	応援協定	25

### 【予 防】

1	用途別防火対象物数	26
2	市町村別用途別中高層防火対象物数	27
3	過去5年間の建築確認申請処理状況	29
4	月別建築確認申請処理状況	29
5	消防用設備等設置届出受理状況	30
6	危険物施設数	31
7	市町村別危険物施設数	32
8	危険物施設申請届出関係 事務処理状況	33
9	火薬類・武器(猟銃)施設数、 届出事務処理状況	34
10	火薬類許可件数	34
11	高圧ガス保安法事業所数、 申請届出事務処理状況	35
12	高圧ガス保安検査受検数	35
13	液化石油ガス法事業所数、 申請届出事務処理状況	36
14	液化石油ガス法保安検査受検数	36
15	防火標語	
(1)	平成31年度柏崎市消防本部 防火標語	36
(2)	過去の最優秀標語	36

### 【警 防】

1	火災の概況	37
2	火災総括表	38
3	市町村別火災状況 及び住宅用火災警報器設置率	40

4	原因別火災件数	41	27	年齢区分別事故種別搬送人員の状況	60
5	過去10年間の火災による死者	41	28	事故種別搬送人員構成比の推移	60
6	曜日別出火件数	42	29	現場到着所要時間別出場件数	61
7	時間別出火件数	42	30	収容所要時間別搬送人員	61
8	市町村別10年間の火災発生の推移	43	31	救急隊員の行った応急処置件数	62
9	火災出場状況	44	32	救急救命士の救急自動車搭乗状況	63
10	その他の災害出場状況	44	33	応急手当普及啓発活動状況	63
11	警戒業務運行状況	45	34	管内医療機関数	63
12	各種訓練等の状況	46	35	救助活動件数	64
13	消防水利		36	月別救助出場件数	64
	(1) 消防法基準適合水利数	47	37	市町村別救助出場件数	65
	(2) 現有水利数	48	38	市町村別救助出場件数過去5年間の推移	65
14	消防車両配置状況	49	39	救助訓練実施状況	65
15	保有車両明細	50	40	救助器材保有状況	66
16	無線施設	52	41	原子力防護資機材保有状況	67
17	緊急通報等受付状況	53	42	気象状況	
18	通信系統図	54		(1) 月別気象状況	68
19	救急総括表	55		(2) 過去5年間の気象状況	69
20	市町村別救急出場件数過去5年間の推移	56		<b>【消防団】</b>	
21	人口1万人当たりの出場件数の推移	56	1	歴代消防団長	70
22	覚知時刻別搬送人員の状況	57	2	消防団組織図	71
23	曜日別救急出場件数及び搬送人員	58	3	消防団員調	72
24	月別救急出場件数及び搬送人員	58	4	消防団員報酬及び費用弁償の状況	72
25	医療機関別搬送人員の状況	59	5	消防団車両の状況	72
26	事故種別傷病程度別搬送人員	59	6	管内町村の消防団組織図	73

# 総括

# 1 位置及び地勢

当消防本部は、柏崎市、刈羽郡刈羽村及び三島郡出雲崎町の1市1町1村を管轄する新潟県のほぼ中央に位置し、東は長岡市に、南は十日町市に、南西は上越市にそれぞれ接し、北西部は日本海に面している。

地形は県内外に名前の知れている鯨波・番神・石地などの海水浴場を有する変化に富んだ海岸線と、南西から東部一帯にかけては米山・黒姫山・八石山に続き、北東部は西山連峰の山岳丘陵地に囲まれ、日本海に注ぐ河川は、鯖石川、鯖石川支流の別山川、鶴川及び島崎川に大別され、この河川流域に大小の平野が開けている。

気候は、このような地形から年間を通じては比較的温暖であるが、冬季は北西の季節風が吹き荒れ、海岸沿いを除き山間部の大半は豪雪地帯である。

交通面では北陸自動車道・国道8号・116号・252号・291号・352号・353号・402号が管内を縦横に走っている。

柏崎市から県都新潟市までは約80キロメートル、関東方面へは北陸自動車道から長岡ジャンクションで関越自動車道につながり、首都東京までは約300キロメートルの位置にある。

また、当地方は古くは宮川油田、刈羽油田、西山油田などで知られたエネルギーの供給地域であり、現在は電力供給基地として柏崎刈羽原子力発電所がある。

位置（消防本部）	東経138度34分	北緯37度21分
管轄面積	512.68㎢	

# 2 柏崎消防の沿革

柏崎消防の沿革については、明治4年に自身番を廃し、火防組を編成した記録に始まり、明治35年4月17日火防組を公設消防組に改組したが、その後結成された柏崎町消防後援隊及び柏崎町防護団とともに、警防団令公布により昭和14年3月31日に廃止し、昭和14年4月1日柏崎町警防団が設置された。

昭和15年6月15日柏崎町警防団に常備消防部が設置され、同年7月1日市制施行となり柏崎市警防団常備消防部と改称し、昭和22年12月消防団令の公布により柏崎市消防団常備消防部に改組した。

昭和23年3月7日消防組織法の施行により、昭和24年7月1日自治体消防として柏崎市消防本部及び消防署に改称し、その後昭和46年4月1日関係市町村により消防事務を共同処理する事務組合を設立したが、平成の大合併で平成17年4月30日同組合を解散、5月1日より名称を柏崎市消防本部に変更し、今日に至っている。

.....◇.....◇.....◇.....◇.....

明治 4年	自身番を廃止し、火防組を編成する。6組 人員約80人
明治35年 4月	火防組を消防組（公認）に改組
明治45年	火防対策充実する
	1 消防組の編成を組頭以下187人、4部に組織する
	2 消防機械器具
	(1)改良両口ポンプ 1台
	(2)ハンドポンプ 2台
大正 3年	消防組改良3号型蒸気ポンプ1台購入
大正 4年11月	消防後援隊結成 人員480余人
昭和 5年11月	柏崎町消防組現有状況
	10部隊376人、消防ポンプ自動車2台、蒸気ポンプ1台
	ガソリンポンプ5台、腕用ポンプ2台、各隊に破壊器具
昭和 9年 7月	柏崎町防護団結成
昭和14年 4月	柏崎町警防団結成
	警防団令（1月24日勅令第20号）公布により消防組を廃止し、柏崎町警防団を結成する。参加人員600余人



昭和15年	6月	柏崎町警防団に常備消防部を創設、部長以下14人、消防ポンプ自動車2台で発足
昭和15年	7月	市制施行にともない、柏崎市警防団常備消防部に改称
昭和15年	9月	常備消防部庁舎竣工（現西本町三丁目）
昭和22年	12月	消防団令（4月30日勅令第185号）公布により柏崎市警防団を柏崎市消防団に改組消防団長以下319人、本部・常備消防部・工作部のほか6ヶ分団で組織
昭和23年	10月	常備消防部消防ポンプ自動車1台購入、部員10人増員し、懸案の2台同時出動を達成する。（現員26人、予備員6人）
昭和24年	3月	柏崎市消防本部及び消防署設置条例を制定
昭和24年	7月	昭和23年3月7日消防組織法（昭和22年12月23日法律第226号）の施行により、自治体消防として警察機構から分離独立し、常備消防部を柏崎市消防本部及び消防署に改称、消防長以下29人、消防ポンプ自動車3台で発足
昭和24年	7月	柏崎市火災予防条例及び柏崎市危険物取締条例を制定
昭和24年	8月	消防本部・消防署開庁式
昭和24年	9月	職員定数29人となる。（非常勤職員を除く、以下同じ。）
昭和24年	11月	職員定数34人となる
昭和24年	12月	消防本部・消防署庁舎増改築竣工
昭和25年	6月	消防署長公舎竣工
昭和25年	12月	職員定数35人となる
昭和29年	4～5月	職員定数38人となる
昭和31年	11月	消防用中短波無線局開局
昭和34年	4月	職員定数41人となる
昭和34年	6月	職員定数44人となる
昭和35年	7月	普通消防ポンプ自動車、日本損害保険協会から寄贈
昭和35年	7月	第11回新潟県消防大会
昭和40年	6月	日本赤十字社新潟県支部から救急車の貸与を受け、本格的な救急業務を開始
昭和40年	7月	職員定数47人となる
昭和40年	12月	化学消防ポンプ自動車配備
昭和44年	8月	職員定数52人となる
昭和45年	3月	屈折はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和45年	4月	職員定数59人となる
昭和45年	7月	柏崎市消防本部・消防署庁舎を大字茨目（現三和町）に新築開設し、旧庁舎を分署に改称
昭和45年	10月	柏崎地域1市3町1村で広域救急業務を開始 （柏崎市・北条町・高柳町・刈羽村・西山町）
昭和46年	4月	新潟県指令地第1173号により組合の設立について新潟県知事の許可があり柏崎市・刈羽郡北条町・高柳町・刈羽村・西山町及び三島郡出雲崎町の1市4町1村をもって消防事務のうち常備消防事務を共同処理する「新潟県柏崎地域消防事務組合」を発足
昭和46年	5月	北条町が柏崎市に合併し、消防事務は1市3町1村となる
昭和46年	6月	消防用超短波無線局を開局
昭和46年	7月	西本町分署を第1分遣所に改称
昭和46年	7月	柏崎市で第3回都市消防レンジャー技術競技大会
昭和47年	1月	職員定数73人となる
昭和47年	3月	出雲崎町大字川西に第2分遣所を開設、消防業務を開始する
昭和47年	3月	消防署車庫増築
昭和47年	4月	職員定数94人となる
昭和47年	5月	高柳町大字岡野町に第3分遣所を開設、消防業務を開始する
昭和48年	1月	救助工作車配備
昭和48年	4月	職員定数100人となる
昭和49年	3月	消防救急指令装置を設置
昭和49年	9月	第1回自衛消防隊消防研究会開催
昭和49年	7月	救助隊を整備、本格的な救助業務を開始する
昭和49年	12月	泡放射砲車を新潟県から貸与
昭和51年	4月	新潟県柏崎地域広域事務組合を設立、1市4町1村の広域事務のうち消防事務は1市3町1村で共同処理
昭和51年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣（昭和52年3月31日まで）
昭和52年	11月	普通消防ポンプ自動車、日本損害保険協会から寄贈
昭和53年	1月	第1分遣所庁舎改築

昭和54年	1月	県波増波
昭和54年	4月	柏崎地域の常備消防事務に小国町が加わり1市4町1村の広域消防となる
昭和54年	4月	職員定数108人となる
昭和55年	4月	職員定数122人となる
昭和55年	4月	小国町大字法坂に第4分遣所を開設、消防業務を開始する
昭和55年	9月	旧西山町立北野小学校跡に第5分遣所を開設、消防業務を開始する
昭和55年	9月	北陸自動車道の供用開始にともない高速自動車道での消防業務を開始する
昭和55年	11月	西山町大字北野に第5分遣所庁舎を建設、移転し消防業務を開始する
昭和56年	4月	職員定数129人となる
昭和56年	4月	新潟県消防学校に教官職員の派遣（昭和57年3月31日まで）
昭和57年	6月	消防本部・消防署庁舎増築
昭和57年	11月	北陸自動車道柏崎～米山間開通
昭和57年	12月	32メートルはしご付消防ポンプ自動車配備
昭和58年	8月	気象観測装置を設置
昭和58年	11月	北陸自動車道米山～柿崎間開通
昭和58年	8月	分遣所の名称を変更
昭和58年	9月	西本町分遣所車庫新築
昭和59年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣（昭和60年3月31日まで）
昭和59年	11月	出雲崎分遣所庁舎増築
昭和61年	1月	鉄筋コンクリート6階建訓練塔新築
昭和61年	10月	小国分遣所 救急自動車更新（4WD救急車新規採用）
昭和61年	12月	消防本部・署敷地整備（アスファルト舗装）
昭和62年	12月	消防救急指令装置更新（NEC・FD-301EⅡ型）
昭和62年	2月	救助工作車更新
昭和62年	7月	消防本部・署冷暖房設備工事（自家変電設備・変電室建屋工事）
昭和62年	8月	水槽付消防ポンプ自動車、日本損害保険協会から寄贈
昭和62年	12月	出雲崎分遣所救急自動車更新（4WD2B型）
昭和62年	12月	広報車、新潟県から貸与
昭和63年	3月	消防指令車更新（ニッサンセドリック）
昭和63年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣（平成1年3月31日まで）
昭和63年	10月	救急輸送車（トヨタコースター）柏崎グリーンスタンプ会から寄贈
昭和63年	12月	消防本部・署車庫増築工事
昭和63年	12月	消防本部・署危険物貯蔵庫改築工事
昭和63年	12月	高柳分遣所増築工事
平成1年	2月	西山分遣所救急自動車更新（ニッサンキャラバン2B型）
平成1年	4月	職員現員数129人
平成1年	5月	貨客兼用自動車更新（スズキエブリー4WD）
平成1年	7月	消防署救急自動車更新（トヨタハイエース2B型）
平成1年	9月	消防署救急自動車更新（トヨタハイエース2B型）日本赤十字社から委託
平成1年	10月	西本町分遣所救急自動車更新（トヨタハイエース2B型）
平成1年	11月	西本町分遣所はしご付消防ポンプ自動車更新 （いすゞフォワードA2級15m級）
平成2年	4月	職員定数131人となる
平成2年	4月	職員現員数131人
平成2年	10月	小国分遣所訓練場舗装工事
平成2年	11月	西本町分遣所消防ポンプ自動車更新（三菱ふそうCD-I型）
平成2年	11月	高柳分遣所無線基地・固定局工事更新
平成2年	12月	西本町分遣所化学消防ポンプ自動車更新（日野レンジャーⅡ型）
平成3年	4月	職員定数133人となる
平成3年	4月	職員現員数132人
平成3年	12月	消防署小型動力ポンプ付水槽車（日野クルージング）配備
平成3年	12月	出雲崎分遣所消防ポンプ自動車更新（三菱ふそうCD-I型）
平成4年	4月	職員現員数133人
平成4年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣（平成5年3月31日まで）
平成4年	6月	消防本部連絡車更新（スズキキャリー4WD）
平成4年	7月	高柳分遣所救急自動車更新（ニッサンキャラバン）
平成4年	11月	西山分遣所消防ポンプ自動車更新（三菱ふそうCD-I型）
平成5年	4月	職員現員数133人
平成5年	10月	消防本部連絡車更新（ニッサンADワゴン）
平成5年	12月	高柳分遣所消防ポンプ自動車更新（三菱ふそうCD-I型）



平成 5年12月 ホース乾燥庫新築  
 平成 6年 1月 出雲崎分遣所仮眠室改築工事  
 平成 6年 4月 職員定数139人となる  
 平成 6年 4月 職員現員数139人  
 平成 6年 9月 消防署貨客兼用自動車更新(トヨタダイナ)  
 平成 6年10月 初の救急救命士養成のため救急救命東京研修所に職員派遣(1人)  
 平成 6年10月 小国分遣所救急自動車更新(トヨタハイエース)  
 平成 6年11月 高度応急処置用資機材整備(小国分遣所)  
 平成 6年12月 消防本部消防指令車更新(三菱エテルナE)  
 平成 6年12月 消防無線(救急波)施設整備工事  
 平成 7年 1月 消防本部非常用発電設備工事  
 平成 7年 1月 阪神・淡路大震災に伴い神戸市へ救急隊1隊3人応援派遣  
 平成 7年 4月 職員現員数139人  
 平成 7年 9月 西本町分遣所第二車庫外壁張替工事  
 平成 7年10月 小国分遣所無線基地・固定局更新工事  
 平成 7年11月 高度応急処置用資機材整備(西本町分遣所)  
 平成 7年12月 小国分遣所及び出雲崎分遣所排水(下水道)設備工事  
 平成 8年 1月 消防署化学消防ポンプ自動車更新(三菱ふそう5tディーゼル)  
 平成 8年 1月 消防署救急自動車更新(高規格救急自動車)(いすゞスーパーメデック)  
 平成 8年 1月 広報車更新、新潟県から貸与  
 平成 8年 3月 救急救命士教育用資機材整備  
 平成 8年 3月 高規格救急自動車運用開始  
 平成 8年 3月 救急業務高度化体制の開始  
 平成 8年 4月 職員現員数139人  
 平成 8年 4月 新潟県消防学校へ教官職員の派遣(平成9年3月31日まで)  
 平成 8年 6月 消防署船外機付救命ボート更新(アキレスSU-14、ヤマハ30DM)  
 平成 8年 7月 高度応急処置用資機材整備(9項目)  
 平成 8年 8月 出雲崎分遣所救急自動車更新(トヨタハイエース2B改良型)  
 平成 8年 9月 緊急連絡用システム整備(職員招集等連絡網)  
 平成 8年10月 消防組織法の規定に基づく消防職員委員会が発足  
 平成 8年10月 小国分遣所除雪機更新(フジイ)  
 平成 8年10月 耐電トランス整備(落雷による過電流防止)  
 平成 8年12月 蒲原沢土石流災害に伴い、消防隊2隊10人応援派遣  
 平成 9年 1月 小国分遣所消防ポンプ自動車更新(三菱ふそうCD-I型)  
 平成 9年 2月 消防本部連絡車更新(三菱リベロカーゴE)  
 平成 9年 3月 消防署消防ポンプ自動車更新(日野レンジャーCD-II型)  
 平成 9年 3月 西本町分遣所屋上防水工事  
 平成 9年 3月 鉄筋コンクリート造2階建訓練塔副塔新築(防災資器材倉庫兼用)  
 平成 9年 4月 職員現員数138人  
 平成 9年 4月 新潟県消防防災航空隊に職員派遣(平成11年3月31日まで)  
 平成 9年 8月 運輸大臣から感謝状を授与(ナホトカ号重油流出事故活動)  
 平成 9年10月 西山分遣所訓練場舗装工事  
 平成 9年11月 西山分遣所救急自動車更新(トヨタグランビア高規格型)  
 平成 9年11月 西本町分遣所救急自動車更新(トヨタグランビア高規格型)  
 平成 9年12月 西本町分遣所消防ポンプ自動車更新(三菱ふそうCD-I型)  
 平成10年 4月 職員現員数138人  
 平成10年10月 消防署救急自動車更新(トヨタグランビア高規格)  
 平成10年11月 出雲崎分遣所庁舎外壁改修工事  
 平成11年 3月 消防緊急通信指令施設II型整備工事  
 平成11年 3月 消防緊急通信指令施設発信地表示装置整備工事  
 平成11年 3月 消防署救助工作車更新(三菱ふそうII型)  
 平成11年 4月 職員現員数138人  
 平成11年 7月 消防本部・署発足50周年式典を挙げる  
 平成11年12月 消防署消防指令車更新(トヨタカムリグラシア)  
 平成12年 4月 職員現員数138人  
 平成12年 8月 出雲崎分遣所無線基地・固定局更新工事  
 平成12年10月 高柳分遣所救急自動車更新(トヨタグランビア高規格型)  
 平成12年12月 消防署水槽付消防ポンプ自動車更新(日野レンジャーII型)  
 平成13年 4月 職員現員数138人  
 平成13年 8月 火災原因調査車更新(トヨタハイエース)

平成14年	4月	職員現員数138人
平成15年	3月	消防本部・署庁舎東棟、危険物貯蔵庫改築及び北棟・南棟改修工事
平成15年	4月	職員現員数138人
平成15年	7月	西本町分遣所救急自動車、高規格運用開始
平成16年	1月	旧32メートルはしご付消防ポンプ自動車をタイ国パヤオ市に贈呈
平成16年	2月	30メートル級はしご自動車更新（日野KL-PR4FPHF 先端屈折式）
平成16年	4月	職員現員数138人
平成16年	4月	緊急消防援助隊登録
		消防組織法改正により、正式登録となる
平成16年	7月	平成16年7月新潟・福島豪雨発生 新潟県広域消防相互応援協定に基づき、三条市へ4隊17人応援派遣
平成16年	10月	新潟県中越地震発生 新潟県広域消防相互応援協定に基づき、小千谷市へ15隊55人応援派遣
平成16年	10月	消防署消防ポンプ自動車更新（日野デュトロCD-I型）
平成16年	11月	消防署特殊災害救助車配備（イズブフォワード）
平成17年	3月	組合構成市町村の小国町が、3月31日新潟県柏崎地域広域事務組合から脱退（長岡市と合併）
平成17年	4月	職員現員数138人
平成17年	4月	組合構成市町村であった小国町が長岡市との合併に伴い、消防力維持のため長岡市へ職員派遣（平成17年4月1日～平成19年3月31日まで12人、平成19年4月1日～平成20年3月31日まで6人）
平成17年	4月	新潟県柏崎地域広域事務組合が4月30日解散
平成17年	5月	組合構成市町村であった高柳町、西山町が柏崎市に編入合併され、名称を柏崎市消防本部及び消防署に変更。刈羽村、出雲崎町は、柏崎市が事務委託を受ける
平成17年	5月	庶務課を総務課に課名変更、合わせて消防団事務を開始
平成18年	4月	職員定数142人となる
平成18年	4月	職員現員数140人
平成18年	4月	新潟県消防学校へ教官職員の派遣（平成20年3月31日まで）
平成18年	7月	消防署救急輸送車更新（ニッサンシビリアン）
平成18年	10月	消防ポンプ自動車をタイ国に贈呈
平成18年	12月	消防署高規格救急車更新（トヨタハイエース）
平成19年	4月	職員現員数142人
平成19年	7月	7月16日10時13分、震度6強の新潟県中越沖地震発生 応援隊として新潟県広域消防相互応援協定に基づき、県内18消防本部から延べ218隊、883人（応援期間7月16日～7月28日）、緊急消防援助隊、消防防災航空隊11隊（応援期間7月16日～7月23日）の応援を受ける
平成19年	11月	出雲崎分遣所救急車更新（トヨタハイエース）
平成20年	4月	女性消防吏員初採用
平成20年	4月	職員現員数139人
平成20年	6月	岩手・宮城内陸地震発生 一関市へ緊急消防援助隊 1隊3人を派遣
平成20年	7月	東庁舎に女性用仮眠室を整備
平成20年	11月	西山分遣所高規格救急車更新（トヨタハイエース）
平成21年	4月	職員現員数141人
平成21年	4月	新潟県消防防災航空隊に職員派遣（平成23年3月31日まで）
平成21年	11月	西本町分遣所高規格救急車更新（トヨタハイエース）
平成22年	3月	消防署広報車兼資機材搬送車更新、新潟県から貸与（トヨタボクシー）
平成22年	3月	西本町分遣所消防ポンプ自動車更新（日野デュトロCD-I型）
平成22年	4月	職員定数145人となる
平成22年	4月	職員現員数141人
平成22年	7月	業務車更新（スズキパレット）
平成22年	7月	西山分遣所化学消防ポンプ自動車配備（日野レンジャーII型）
平成22年	8月	消防署消防指令車更新（スズキランディー）
平成22年	9月	消防署高規格救急車更新（トヨタハイエース）
平成23年	1月	西本町分遣所15メートル級はしご付消防ポンプ自動車更新（日野レンジャー）
平成23年	3月	消防緊急通信指令施設部分更新
平成23年	3月	東日本大震災発生 石巻市へ緊急消防援助隊 22隊53人を派遣

平成23年	4月	職員現員数138人
平成23年	4月	高柳分遣所庁舎移転（高柳町事務所併設）
平成23年	4月	西山分遣所庁舎移転（西山町事務所併設）
平成23年	7月	平成23年7月新潟・福島豪雨発生 新潟県広域消防相互応援協定に基づき、三条市に1隊5人応援派遣
平成23年	10月	高柳分遣所高規格救急車更新（トヨタハイエース）
平成24年	1月	西山分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新（日野デュトロCD-I型）
平成24年	1月	出雲崎分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新（日野デュトロCD-I型）
平成24年	4月	職員現員数143人
平成24年	5月	南魚沼市八箇峠トンネル内爆発事故発生 新潟県広域消防相互応援協定に基づき、南魚沼市に2隊10人を派遣
平成24年	8月	消防署業務車更新（トヨタライトエース）
平成24年	11月	消防署貨客兼用自動車更新（三菱キャンター）
平成24年	11月	高柳分遣所水槽付消防ポンプ自動車更新（日野デュトロCD-I型）
平成25年	3月	西本町分遣所化学消防ポンプ自動車更新（日野レンジャーII型）
平成25年	4月	総務課を消防総務課に課名変更
平成25年	4月	職員現員数144人
平成25年	7月	消防救急デジタル無線整備工事開始（3箇年継続事業）
平成25年	9月	ホイールローダ配備
平成25年	11月	南棟漏水工事
平成25年	12月	南棟外壁塗装改修工事
平成26年	1月	消防署小型動力ポンプ付水槽車更新（日野レンジャー）
平成26年	1月	下水道改修工事
平成26年	2月	北棟外部鉄骨階段塗装改修工事
平成26年	3月	西山分遣所仮眠室増設工事
平成26年	3月	消防救急デジタル無線工事一部履行 （消防本部、西本町分遣所、高柳分遣所、市役所）
平成26年	4月	再任用制度運用開始
平成26年	4月	職員現員数148人（再任用職員4人含む）
平成26年	4月	旧化学消防ポンプ自動車をベトナム社会主義共和国に寄贈
平成26年	8月	消防本部・署ガスヒートポンプエアコン室外機（No.1）修繕
平成26年	8月	陽圧式化学防護服一式（2着）更新
平成26年	11月	旧小型動力ポンプ付水槽車をフィリピン共和国に贈呈
平成26年	12月	消防本部・署シャワー室改修工事（女性専用シャワー室整備）
平成27年	2月	消防本部・署屋外物置外装改修工事
平成27年	3月	消防署多機能型水槽付消防ポンプ自動車更新（日野レンジャー 1-A型）
平成27年	3月	消防救急デジタル無線工事一部履行（西山分遣所）
平成27年	4月	職員現員数149人（再任用職員7人含む）
平成27年	9月	平成27年9月関東・東北豪雨発生 常総市に緊急消防援助隊 2隊6人を派遣
平成27年	9月	北棟外壁・屋上防水改修工事
平成27年	11月	消防署指令車更新（トヨタハイエース）
平成28年	1月	出雲崎分遣所新庁舎へ移転
平成28年	3月	消防署高規格救急車更新（トヨタハイエース）
平成28年	3月	消防救急デジタル無線整備工事完了（3箇年継続事業）、運用開始
平成28年	4月	職員現員数152人（再任用職員7人含む）
平成28年	4月	初の指導救命士養成のため救急救命九州研修所に職員派遣（1人）
平成28年	10月	西山分遣所救急車更新（トヨタハイエース）
平成28年	12月	消防本部・消防署庁舎東棟外壁改修工事
平成28年	12月	糸魚川市大規模火災発生 新潟県広域消防相互応援協定に基づき、糸魚川市に3隊24人応援派遣
平成29年	3月	西分署竣工、西本町分遣所の機能を西分署に移転し仮運用開始
平成29年	3月	消防署電気自動車 日産自動車より貸与（e-NV200）
平成29年	4月	職員現員数151人（再任用職員7人含む）
平成29年	4月	西分署運用開始
平成29年	4月	組織機構変更により、消防本部警防課を新たに設置
平成29年	4月	柏崎総合医療センターと「大規模災害等における柏崎総合医療センターDMATと 柏崎市消防本部の連携に関する協定」を締結
平成29年	4月	柏崎地区生コンクリート組合と「災害時における消防用水の搬送に関する協定」を 締結
平成29年	9月	消防本部火災原因調査車更新（トヨタハイエース）

平成29年11月 西分署水槽付消防ポンプ自動車更新（日野デュトロCD-I型）  
 平成29年11月 避難指示区域 大規模火災対応訓練  
 平成29年11月 学生消防団員入団式（男性3人 女性2人）  
 平成29年11月 柏崎総合医療センターへ救急車寄贈（DMAT車両）  
 平成29年12月 出雲崎分遣所高規格救急車更新（トヨタハイエース）  
 平成30年 4月 新潟県消防学校へ教官職員の派遣（令和2年3月31日まで）  
 平成30年 4月 職員定数155人  
 平成30年 4月 職員現員数153人（再任用5人含む）  
 平成30年 9月 北海道胆振東部地震発生  
 大規模災害等における柏崎総合医療センターDMATと柏崎市消防本部の連携  
 に関する協定に基づき、札幌、苫小牧市に職員派遣（2人）  
 平成30年10月 柏崎ライオンズクラブから無人航空機（ドローン）が2機寄贈される  
 平成30年11月 西分署高規格救急車更新（トヨタハイエース）  
 平成30年12月 新潟県消防学校へ救急車寄贈  
 平成31年 2月 指令台部分更新及び車両動態位置管理システム導入  
 平成31年 4月 機能別消防団発足（消防職員OB20人）  
 平成31年 4月 職員現員数156人（再任用7人含む）

### 3 歴代消防長・消防署長

(1) 柏崎市消防本部・消防署（昭24. 6. 29～昭46. 3. 31）

	歴代	氏名	就任	退任	備考
消防長	初代	前川謙治	昭24. 6. 29	昭26. 5. 10	助役事務取扱
	二代	関憲治	昭26. 5. 11	昭34. 5. 11	〃
	三代	吉浦栄一	昭34. 5. 12	昭37. 9. 30	市長事務取扱
	四代	五十嵐信	昭37. 10. 1	昭38. 12. 31	
	五代	山田重行	昭39. 1. 1	昭45. 1. 31	
	六代	小林治助	昭45. 2. 1	昭46. 3. 31	市長事務取扱
署長	初代	五十嵐信	昭24. 6. 30	昭38. 12. 31	昭和37. 10. 1～昭和38. 12. 31 消防長事務取扱
	二代	山田重行	昭39. 1. 1	昭45. 1. 31	消防長事務取扱
	三代	松崎三作	昭45. 2. 1	昭46. 3. 31	

(2) 新潟県柏崎地域消防事務組合消防本部・消防署（昭46. 4. 1～昭51. 3. 31）  
新潟県柏崎地域広域事務組合消防本部・消防署（昭51. 4. 1～平17. 4. 30）

	歴代	氏名	就任	退任	備考
消防長	初代	小林治助	昭46. 4. 1	昭50. 6. 30	管理者柏崎市長事務取扱
	二代	松崎三作	昭50. 7. 1	昭54. 1. 31	
	三代	小林治助	昭54. 2. 1	昭54. 4. 29	管理者柏崎市長事務取扱
	四代	今井哲夫	昭54. 4. 30	昭54. 6. 30	〃
	五代	中村四郎	昭54. 7. 1	昭57. 3. 31	
	六代	黒崎賢司	昭57. 4. 1	昭59. 3. 31	
	七代	村田精一	昭59. 4. 1	平3. 3. 31	
	八代	原俊朗	平3. 4. 1	平6. 3. 31	
	九代	小林一彦	平6. 4. 1	平10. 3. 31	
	十代	西巻一也	平10. 4. 1	平12. 3. 31	
	十一代	内山俊彦	平12. 4. 1	平16. 3. 31	
	十二代	前澤尚之	平16. 4. 1	平17. 4. 30	
署長	初代	松崎三作	昭46. 4. 1	昭54. 1. 31	昭和50. 7. 1～昭和54. 1. 31 消防長事務取扱
	二代	黒崎賢司	昭54. 2. 1	昭58. 6. 30	昭和57. 4. 1～昭和58. 6. 30 消防長事務取扱
	三代	村田精一	昭58. 7. 1	昭59. 3. 31	
	四代	小林久治	昭59. 4. 1	昭62. 3. 31	
	五代	坂井史郎	昭62. 4. 1	平3. 3. 31	
	六代	小山勇	平3. 4. 1	平4. 3. 31	
	七代	猪俣彰	平4. 4. 1	平6. 3. 31	
	八代	海津昇一	平6. 4. 1	平10. 3. 31	
	九代	内山俊彦	平10. 4. 1	平12. 3. 31	
	十代	大島修	平12. 4. 1	平14. 3. 31	
	十一代	前澤尚之	平14. 4. 1	平16. 3. 31	
	十二代	前澤泰男	平16. 4. 1	平17. 4. 30	



## (3) 柏崎市消防本部・消防署 (平17. 5. 1～)

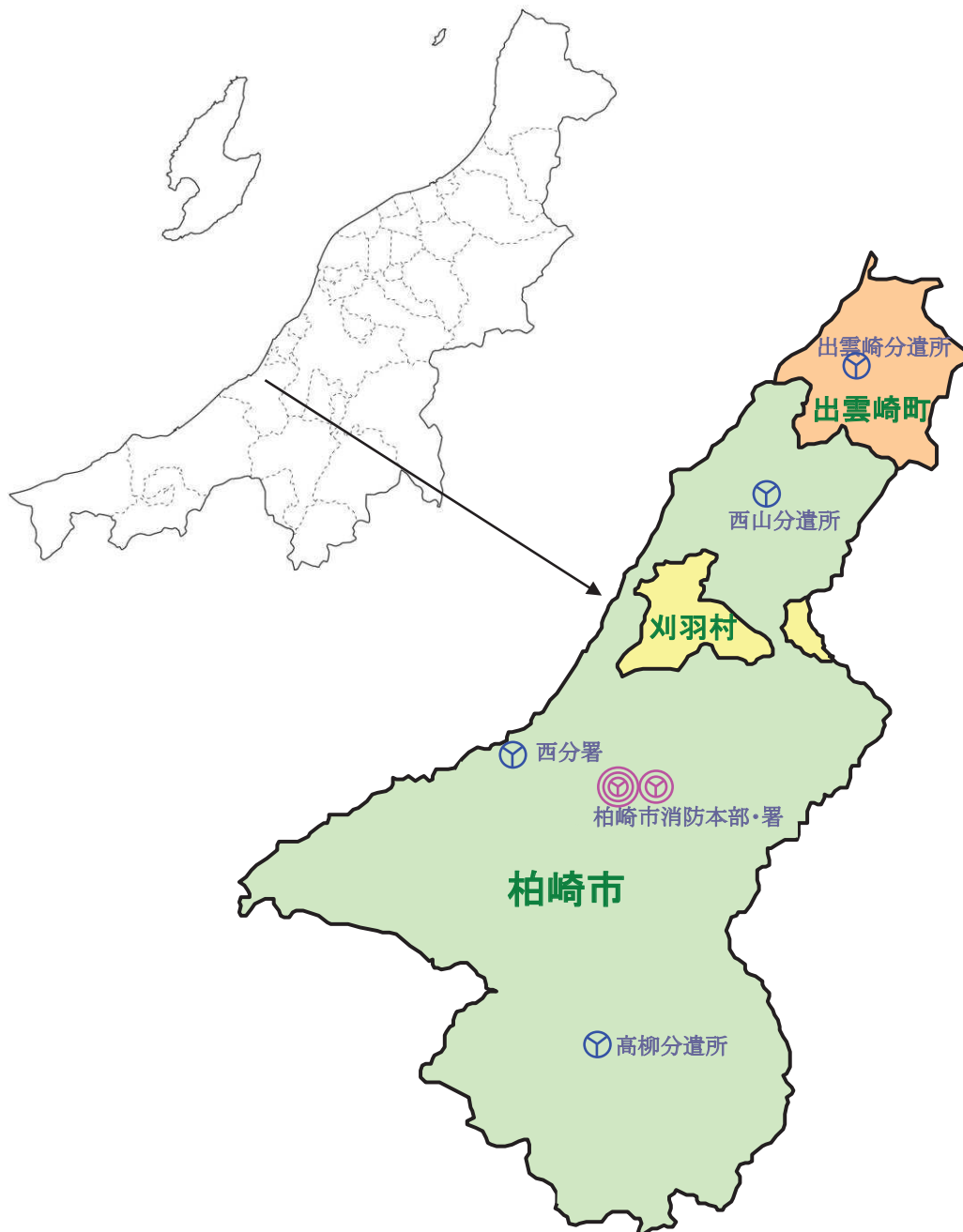
	歴代	氏名	就任	退任	備考
消防長	初代	前澤尚之	平17. 5. 1	平18. 3. 31	
	二代	大島 修	平18. 4. 1	平20. 3. 31	
	三代	前澤泰男	平20. 4. 1	平21. 3. 31	
	四代	須田正明	平21. 4. 1	平22. 3. 31	
	五代	須田静男	平22. 4. 1	平24. 3. 31	
	六代	赤堀 稔	平24. 4. 1	平26. 3. 31	
	七代	駒野龍夫	平26. 4. 1	平29. 3. 31	
	八代	近藤尚文	平29. 4. 1		
署長	初代	前澤泰男	平17. 5. 1	平20. 3. 31	
	二代	須田正明	平20. 4. 1	平21. 3. 31	
	三代	須田静男	平21. 4. 1	平22. 3. 31	
	四代	大倉秀樹	平22. 4. 1	平23. 3. 31	
	五代	中澤修一	平23. 4. 1	平26. 3. 31	
	六代	若山 浩	平26. 4. 1	平29. 3. 31	
	七代	田辺昌敏	平29. 4. 1		



## 4 管内図

「平成31. 3.31」

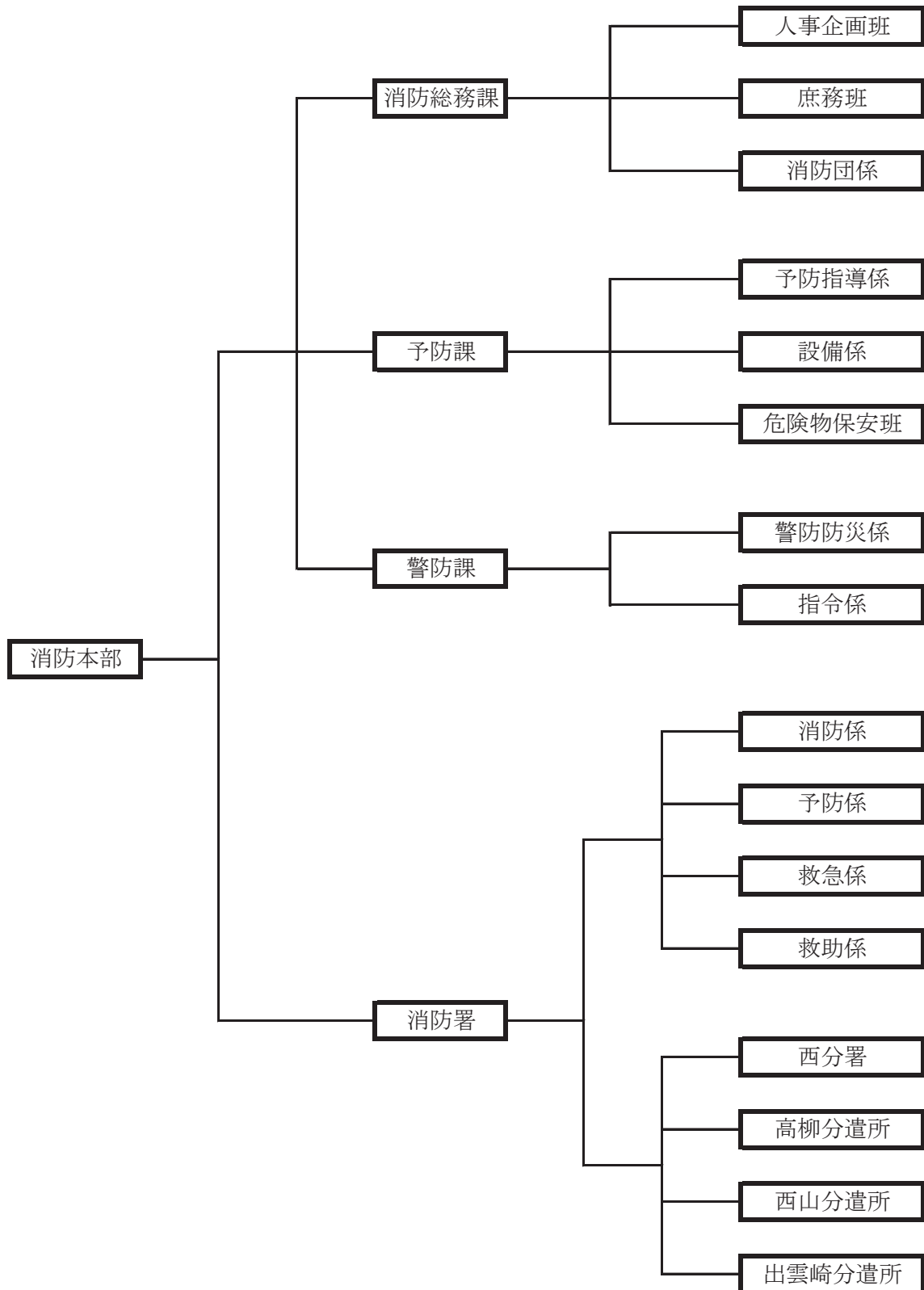
市町村名	面積 km <sup>2</sup>	人口	世帯数	1km <sup>2</sup> 当たり 人口密度(人)
柏崎市	442.03	83,504	34,800	188.91
刈羽村	26.27	4,595	1,601	174.91
出雲崎町	44.38	4,364	1,730	98.33
計	512.68	92,463	38,131	180.35



# 総務

1 消防本部・消防署機構図

「平成31. 4. 1」



## 2 消防本部の分掌事務

### 消防総務課

- 1 文書及び法規に関すること。
- 2 情報公開及び個人情報保護に関すること。
- 3 庁舎管理に関すること。
- 4 消防長会及び消防応援協定（緊急消防援助隊含む）に関すること。
- 5 予算の編成、配当及び執行管理に関すること。
- 6 財産の管理及び契約に関すること。
- 7 職員の人事、給貸与、厚生及び研修に関すること。
- 8 職員の教育及び指導育成に関すること。
- 9 消防統計、広報及び表彰に関すること。
- 10 消防団及び消防施設に関すること。
- 11 水防活動に関すること。
- 12 他の課に属さないこと。

### 予 防 課

- 1 火災の原因及び損害調査に関すること。
- 2 防火対象物等の立入検査及び違反処理に関すること。
- 3 建築物等の確認申請に伴う消防同意事務に関すること。
- 4 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- 5 火災予防条例に基づく届出及び指導に関すること。
- 6 住宅防火対策の推進に関すること。
- 7 危険物製造所等の許認可事務に関すること。
- 8 危険物製造所等の立入検査及び違反処理に関すること。
- 9 火薬類取締法（昭和25年法律第149号）に関すること。
- 10 武器等製造法（昭和28年法律第145号）に基づく猟銃等に関すること。
- 11 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に関すること。
- 12 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第149号）に関すること。
- 13 特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律（昭和54年法律第33号）に関すること。
- 14 その他予防課業務の統計及び法規に関すること。

## 警 防 課

- 1 火災及び災害の警戒・防御に関する事。
- 2 現場指揮本部の運営に関する事。
- 3 警防計画に関する事。
- 4 消防訓練計画の企画及び立案に関する事。
- 5 消防応援協定に基づく応援及び受援に関する事。
- 6 緊急消防援助隊の応援及び受援に関する事。
- 7 原子力消防活動及び原子力防護資機材の整備・管理に関する事。
- 8 自衛消防隊の指導及び育成に関する事。
- 9 災害等出場命令に関する事。
- 10 災害等の情報収集及び記録に関する事。
- 11 消防指令・通信機器の整備及び管理に関する事。
- 12 気象観測及び気象情報の収集に関する事。
- 13 職員の非常招集及び消防団の出場要請に関する事。
- 14 その他警防課業務の統計及び法規に関する事。

## 3 消防署の分掌事務

### 消 防 署

- 1 火災及び災害の警戒・防御に関する事。
- 2 火災の原因及び損害調査に関する事。
- 3 救急業務の実施に関する事。
- 4 救助業務の実施に関する事。
- 5 消防水利施設の整備及び管理に関する事。
- 6 消防ポンプ操法の指導・審査に関する事。
- 7 防火対象物の立入検査に関する事。
- 8 火災予防条例に基づく届出及び指導に関する事。
- 9 住宅防火対策の推進に関する事。
- 10 建築物等の確認申請に伴う消防同意事務に関する事。
- 11 応急手当の普及啓発活動の推進に関する事。
- 12 救急救命士を含む救急隊員の指導及び育成に関する事。
- 13 医療機関等救急関係機関との連絡調整に関する事。
- 14 救助技術の指導及び訓練に関する事。
- 15 消防車両、消防機械器具装備の整備及び管理に関する事。
- 16 救急車両、救急資器材の整備及び管理に関する事。
- 17 その他消防署業務の統計及び法規に関する事。

#### 4 消防庁舎の現況

「平成31. 4. 1」

名称	所在地	構造	面積 m <sup>2</sup>		
		竣工年月日	敷地	建築面積	延べ面積
消防本部 消防署	〒945-0034 柏崎市三和町8番51号	鉄筋コンクリート 鉄骨造 3階建	6,837	1,034	2,719
		平成15年 3月14日			
西分署	〒945-0068 柏崎市東港町6番37号	鉄筋コンクリート 造2階建	3,634	715	1,195
		平成29年 3月23日			
高柳 分遣所	〒945-1502 柏崎市高柳町岡野町1849番地1 (高柳町事務所併設)	鉄筋コンクリート 造3階建 地下1階	2,493.00 の一部	752.24 の一部	2,518.69 (占有) (310.20)
		平成23年 1月30日			
西山 分遣所	〒949-4123 柏崎市西山町池浦117番地2 (西山町事務所併設)	鉄筋コンクリート 造3階建 鉄骨造2階建	7,319.88 の一部	1,181.28 の一部	2,542.85 (占有) (794.84)
		平成23年5月20日			
出雲崎 分遣所	〒949-4353 三島郡出雲崎町大字川西129番地1	鉄骨造 3階建	496	180	566
		平成27年11月30日			



## 5 消防事務の財政

### (1) 消防費決算状況

(単位：円)

区分		年度	平成29年度決算額	平成28年度決算額	比較増減
消防費	常備消防費		1,149,160,392	1,143,703,614	5,456,778
	給料		521,786,435	535,378,263	△ 13,591,828
	職員手当等		338,793,954	345,334,596	△ 6,540,642
	共済費		175,079,943	178,588,273	△ 3,508,330
	報償費		230,000	330,000	△ 100,000
	旅費		4,026,120	3,587,500	438,620
	交際費		30,142	46,412	△ 16,270
	需用費		45,211,518	42,054,912	3,156,606
	役務費		9,004,844	7,796,192	1,208,652
	委託料		39,000,675	16,867,367	22,133,308
	使用料及び賃借料		3,830,581	2,866,322	964,259
	原材料費		15,332	63,180	△ 47,848
	備品購入費		5,743,251	5,138,592	604,659
	負担金補助及び交付金		5,471,307	4,702,605	768,702
	補償補填及び賠償金		39,290	0	39,290
	公課費		897,000	949,400	△ 52,400
	非常備消防費		139,026,105	141,798,561	△ 2,772,456
	報償		35,559,784	36,584,358	△ 1,024,574
	給料		4,780,248	4,780,248	0
	職員手当等		2,431,690	2,360,585	71,105
	共済費		1,805,097	1,749,863	55,234
	賃金		1,720,570	1,713,337	7,233
	報償費		6,299,500	6,495,500	△ 196,000
	旅費		27,740,280	28,100,620	△ 360,340
	需用費		13,116,047	14,268,954	△ 1,152,907
	役務費		1,033,060	1,367,588	△ 334,528
	委託料		2,134,674	1,669,005	465,669
	使用料及び賃借料		1,282,521	1,248,189	34,332
	工事請負費		0	0	0
	原材料費		11,428	0	11,428
	備品購入費		0	0	0
	負担金補助及び交付金		39,851,718	40,028,314	△ 176,596
	補償補填及び賠償金		128,088	0	128,088
公課費		1,131,400	1,432,000	△ 300,600	
消防費			1,288,186,497	1,285,502,175	2,684,322
一般会計決算額			48,182,934,389	48,729,207,675	△ 546,273,286
消防費割合 (%)			2.6	2.6	—

※消防施設費・水防費及び災害対策費を除く。

### (2) 人口及び世帯に対する決算割合

(単位：円)

区分		年度	平成29年度	平成28年度	比較増減
常備消防費	人口1人当たりの消防費 (管内：柏崎市・刈羽村・ 出雲崎町)		11,953	11,896	57
	一世帯当たりの消防費 (管内：柏崎市・刈羽村・ 出雲崎町)		31,184	31,036	148
非常備消防費	人口1人当たりの消防費 (柏崎市)		1,601	1,633	△ 32
	一世帯当たりの消防費 (柏崎市)		4,142	4,225	△ 83

## 6 消防職員調

### (1) 階級別調

「平成31. 4. 1」

階級別 配置別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
		消防長		1						
消防本部	消防総務課		1	2	1	2	1		2	9
	予防課		1	1	5	3	2			12
	警防課			3	4	2	5	4		18
	県消防学校派遣及び入校					1		3		4
消防署	本署		1	4	14	11	8	10		48
	西分署			2	3	3	8	6		22
	高柳分遣所			1	3	2	4	2		12
	西山分遣所			2	2	4	4	6		18
	出雲崎分遣所			2	1	4	2	3		12
計		1	3	17	33	32	34	34	2	156

(再任用職員含む)  
(職員条例定数155人)

## (2) 在職年数調

「平成31. 4. 1」

区分	階級別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
1年目								6	1	7
2年目								8		8
3年目								7		7
4年目								3		3
5年目								3		3
6年目							8	3		11
7年目							3	2	1	6
8年目							5	2		7
9年目						2	5			7
10年目						3	4			7
11年目						6	3			9
12年目						2	5			7
13年目						2	1			3
14年目						3				3
15年目										0
16年目						3				3
17年目						1				1
18年目						1				1
19年目										0
20年目						1				1
21年目						1				1
22年目					1					1
23年目					1					1
24年目										0
25年目										0
26年目					9					9
27年目					2					2
28年目					3					3
29年目					3					3
30年目					3					3
31年目					2					2
32年目										0
33年目					2					2
34年目										0
35年目					1					1
36年目				1						1
37年目				2						2
38年目				1	2					3
39年目				4	2	1(再任用)				7
40年目			2	5	1	1(再任用)				9
41年目	1	1	4	1	4(再任用)					11
42年目										0
43年以上					1(再任用)					1
計		1	3	17	33	32	34	34	2	156

(再任用職員含む)

## (3) 年齢調

「平成31. 4. 1」

階級別 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
18歳							4		4
19歳							3		3
20歳							5		5
21歳							2		2
22歳							7		7
23歳							5		5
24歳							5		5
25歳							3		3
26歳						3			3
27歳						8			8
28歳						6			6
29歳						14			14
30歳					2	1			3
31歳					5	1			6
32歳					5	1			6
33歳					3				3
34歳					1				1
35歳					2				2
36歳					1				1
37歳					4				4
38歳					1				1
39歳					1				1
40歳									0
41歳									0
42歳									0
43歳				6					6
44歳				3					3
45歳				5					5
46歳				2					2
47歳				5					5
48歳				3				1	4
49歳									0
50歳				2					2
51歳									0
52歳				1					1
53歳			1						1
54歳			1						1
55歳			1	2					3
56歳			4	2					6
57歳		2	5						7
58歳		1	5						6
59歳	1			2				1	4
60歳以上					7(再任用)				7
計	1	3	17	33	32	34	34	2	156

(再任用職員含む)

(4) 職員の階級別比較

「平成31. 4. 1」

区分	職員数 (人)	構成比 (%)	平均勤続年数 (年)	平均年齢 (歳)
消防監	1	0.6	41	59
消防司令長	3	1.9	40	57
消防司令	17	10.9	39	57
消防司令補	33	21.2	30	48
消防士長	32	20.5	19	40
消防副士長	34	21.8	9	28
消防士	34	21.8	4	22
その他	2	1.3	4	54
計	156	100	18	38

(再任用職員含む)

(注) 平均勤続年数と平均年齢の小数点以下は、四捨五入とする。

7 消防力の基準と現有消防力の比較

	基準数 (署所)	現有数 (署所)
署所	5	5

		基準台数 (台) (非常用を除く)		基準台数 に対する 人員の基 準数 (人)	現有台数 (台) (非常用を除く)		現有台数 等に対す る人員の 基準数 (人)	現有 人員数 (人)
			うち乗換 運用の台数			うち乗換 運用の台数		
消防隊員	消防ポンプ自動車	6	—	182	6	—	182	120
	はしご自動車	2	乗換 2		2	乗換 2		
	化学消防車	3	乗換 2		3	乗換 2		
	特殊車等	7	乗換 7		7	乗換 7		
救急隊員	救急自動車	5	—		5	—		
救助隊員	救助工作車	1	—		1	—		
指揮隊員	指揮車	1			1			
通信員						10	8	
専任の予防要員						23	12	
庶務の処理等の ために必要な人員						14	16	
計						229	156	

(再任用職員含む)

(注) 基準数は平成27年度消防施設整備計画実態調査時、現有数は平成31年4月1日現在



## 8 消防吏員表彰状況

「年度」

年度別 区分	消防庁長官 永年勤続功労章	全国消防協会 永年勤続功労章	優良消防職員表彰 新潟県消防長会	優良消防職員表彰 新潟県知事	永年勤続功労章 全国消防長会	日本消防協会 永年勤続功労章	新潟県消防協会 精勤章
20年度	2		2		15		1
21年度	4	1	2	13	23	11	14
22年度	2		2	17	12	14	18
23年度	2		2	12	22	8	12
24年度	2		2	6	8	3	7
25年度	2	1	2	4	10	2	5
26年度	2		2	10	1	1	13
27年度	1		2	1		1	1
28年度	1	1	2		3		3
29年度	1		2	3	1		6
30年度	2		2	1	3		8

9 消防本部・署に勤務する職員の特殊勤務手当支給基準

種別	支給対象	支給単位	支給額
災害活動手当	自動車運転者	勤務1回につき	500円
	その他の職員	勤務1回につき	300円
救急業務活動手当	救急救命士	勤務1回につき	350円
	自動車運転者	勤務1回につき	250円
	その他の職員	勤務1回につき	170円
高所作業手当	災害現場で高さ15メートルを超える環境での業務に従事した職員	勤務1回につき	200円
夜間招集手当	午後9時から翌朝5時までの間、月2回以上招集された職員	2回目から勤務1回につき	1,000円

10 消防職員の特種技能その他取得状況調

「平成31. 4. 1」

種別		人数	種別	人数			
自動車運転免許	大型	一種	122 (7)	予防技術資格者	防火査察専門員	36 (3)	
		二種	1		消防用設備等専門員	14 (2)	
	中型□ (大型取得者は除く)	一種	9		危険物専門員	9 (2)	
		二種	0	救急	救急救命士	38	
	普通	一種	154 (7)		指導救命士	2	
		二種	0		救急科	63	
	大型特殊		13		救急標準課程	26	
	けん引		0		救急Ⅰ課程・Ⅱ課程	38 (7)	
	自動二輪		35 (5)		その他	応急手当指導員	148 (7)
	無線	第二級陸上特殊無線技士	60 (7)			衛生管理者	15 (1)
第三級陸上特殊無線技士		85	電気工事士	2			
危険物	甲種	1	小型船舶操縦士	40 (1)			
	乙種第四類	110 (1)	ガス溶接技能講習修了者	31 (2)			
	丙種	6	アーク溶接業務特別教育修了者	11			
消防設備士	甲種	第1類	1	小型移動式クレーン技能講習		67 (4)	
		第2類	0	足場組立等作業主任者		20	
		第3類	0	玉掛技能講習修了者		60 (1)	
		第4類	2	防火管理者		61 (7)	
		第5類	1	甲種火薬類取扱責任者	1		
	乙種	第1類	1	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	41 (1)		
		第2類	0	潜水士	93 (2)		
		第3類	0	スクーバダイビング	16		
		第4類	4	ボイラー技士	3		
		第5類	1	特定化学物質等作業主任者技能講習	12 (1)		
		第6類	5	高圧ガス消費者保安講習	9		
		第7類	3	車両系建設機械（整地等）	97 (2)		

※（ ）は再任用職員

11 消防職員研修受講状況

「年度」

区分		年度別					
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
消防 大学 校	幹部科	1			1		
	警防科			1			
	予防科						
	救助科				1		
	救急科						
	火災調査科	1					
	新任消防長・学校長科	1					
	NBCコース		1	1	1	1	
	新任教官科				1		
県 消 防 学 校	初任科	14	3	3	7	9	
	専 科 教 育	警防科	2	2	2	2	1
		予防査察科			2		2
		危険物科	2		2	1	
		火災調査科		2		2	2
		救助科	2	2	2	2	2
		救急科	4	13	4	2	7
	幹 部 教 育	初級幹部科		2		2	
		中級幹部科	2		2		2
	特 別 教 育	操法審査員研修	2	2	2	2	2
		処置範囲拡大追加講習	14	14			
		高度救助コース		1	1	1	1
		救急救命士研修	1	1	1	1	1
		指導救命士研修			1	1	
そ の 他	原子力防災基礎研修	1	5	8	2	2	
	災害対策要員研修	3		8	2	3	
	本部図上訓練	1					
	住民防護活動要員専門研修	4					
	NIRS放射線事故初動セミナー	1	1	1	1	1	
	総合研修（放射能基礎知識） 専門研修「汚染傷病者等搬送」	1					
	原子力災害時の医療に関わる 研修講師養成講座 （被ばく傷病者等搬送）		1		1	1	
	原子力研修講座	2					
	原子力施設における火災防護に関する研修		10		7		

## 12 応援協定

協定等の名称	締結年月日	業務内容	協定先等の名称
新潟県広域消防 相互応援協定	当初：平成13年4月1日 平成17年9月1日	災害	上越地域 中越地域 下越地域 佐渡地域 } 消防本部
新潟県消防防災 ヘリコプター 応援協定	平成7年4月1日	災害	新潟県下の市町村及び消防事務 に関する一部事務組合
中部消防応援協定	当初：昭和28年11月25日 平成22年3月31日	災害	長岡市 三条市 燕・弥彦総合事務組合 見附市 加茂地域 小千谷市 十日町地域 魚沼市 南魚沼市
一部改正	平成29年1月1日	災害	同上
上越地域消防事務組合・ 柏崎市消防相互応援協定	当初：昭和47年9月30日 平成17年5月1日	災害	上越地域消防事務組合
一部改正	平成22年4月1日	災害	上越地域消防事務組合
高速自動車国道北陸 自動車道長岡西山間 消防相互応援協定	当初：昭和55年9月20日 平成17年4月1日	災害	長岡市
高速自動車国道北陸 自動車道米山柿崎間 消防相互応援協定	当初：昭和58年11月4日 平成22年4月1日	災害	上越地域消防事務組合
大規模災害等における柏 崎総合医療センターDM ATと柏崎市消防本部の 連携に関する協定書	平成29年4月10日	災害	新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター
災害時における消防用水 の搬送に関する協定書	平成29年4月11日	災害	柏崎地区生コンクリート 協同組合

予 防



1 用途別防火対象物数

「平成31. 4. 1」

用途別		区分	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4			4
	ロ	公会堂、集会場	166	26	10	202
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				0
	ロ	遊技場、ダンスホール	8			8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				0
	ニ	カラオケボックスの類	3			3
(三)	イ	待合、料理店の類	17		1	18
	ロ	飲食店	127	3	7	137
(四)		百貨店、マーケットの類	142	2	1	145
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	88	9	11	108
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	705	30	7	742
(六)	イ	(1) 特定病院 ※1	2			2
		(2) 特定診療所 ※2				0
		(3) 非特定医療機関（有床系） ※3	14			14
		(4) 非特定医療機関（無床系） ※4	34	1		35
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム他	39	1	3	43
		(2) 救護施設	3			3
		(3) 乳児院				0
		(4) 障害児入所施設	2			2
		(5) 障害者支援施設	5			5
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム他	13	2	3	18
		(2) 更生施設				0
		(3) 助産施設、保育所他	30	1	3	34
		(4) 児童発達支援センター、児童心理治療施設他	1			1
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設他	20	1	1	22
	ニ	幼稚園、特殊支援学校	10			10
(七)		小、中、高等学校、大学の類	90	3	7	100
(八)		図書館、博物館、美術館の類	11		1	12
(九)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類				0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1			1
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	2		1	3
(十一)		神社、寺院、教会の類	138	5	32	175
(十二)	イ	工場、作業場	565	41	26	632
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		1		1
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	53	3	7	63
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				0
(十四)		倉庫	381	28	8	417
(十五)		前各号に該当しない事業場	460	57	23	540
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	287	2	13	302
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	70	5	3	78
(十六の二)		地下街				0
(十六の三)		地下街に準ずるもの				0
(十七)		文化財保護法による重要文化財等	11	1		12
(十八)		延長50メートル以上のアーケード				0
計			3,502	222	168	3,892

(注) 対象物数は、延べ面積150㎡以上〔(十七)を除く〕

- ※1 (1) 次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。）
- (i) 診療科名中に特定診療科名（内科、整形外科、リハビリテーション科その他の総務省令で定める診療科名をいう。(2)(i)において同じ。）を有すること。
  - (ii) 医療法（昭和23年法律第205号）第7条第2項第4号に規定する療養病床又は同項5号に規定する一般病床を有すること。
- ※2 (2) 次のいずれにも該当する診療所
- (i) 診療科名中に特定診療科名を有すること。
  - (ii) 4人以上の患者を入院させるための施設を有すること。
- ※3 (3) 病院（(1)に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（(2)に掲げるものを除く。）又は入所施設を有する助産所
- ※4 (4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所

## 2 市町村別用途別中高層防火対象物数

用途別	市町村名 階数	管内									計
		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上		
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1								1
	ロ	公会堂、集会場		1							1
(二)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類									0
	ロ	遊技場、ダンスホール									0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									0
	ニ	カラオケボックスの類									0
(三)	イ	待合、料理店の類	1								1
	ロ	飲食店	1								1
(四)		百貨店、マーケットの類									0
(五)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	4	1			1	1	1	1	9
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	36	30	1	2			1	1	71
(六)	イ	(1) 特定病院 ※1				1					1
		(2) 特定診療所 ※2									0
		(3) 非特定医療機関（有床系） ※3	3	3			1				7
		(4) 非特定医療機関（無床系） ※4									0
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム他	1	2							3
		(2) 救護施設									0
		(3) 乳児院									0
		(4) 障害児入所施設									0
		(5) 障害者支援施設									0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム他									0
		(2) 更生施設									0
		(3) 助産施設、保育所他									0
		(4) 児童発達支援センター、児童心理治療施設他									0
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設他									0
	ニ	幼稚園、特殊支援学校									0
(七)		小、中、高等学校、大学の類	11								11
(八)		図書館、博物館、美術館の類									0
(九)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類									0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									0
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場									0
(十一)		神社、寺院、教会の類									0
(十二)	イ	工場、作業場	3	1							4
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ									0
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	1								1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫									0
(十四)		倉庫									0
(十五)		前各号に該当しない事業場	10	3	2					1	16
(十六)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	8	5	2			2			17
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1	2							3
(十七)		文化財保護法による重要文化財等									0
計			81	48	5	3	2	3	2	3	147

- ※1 (1) 次のいずれにも該当する病院（火災発生時の延焼を抑制するための消火活動を適切に実施することができる体制を有するものとして総務省令で定めるものを除く。）
- (i) 診療科名中に特定診療科名（内科、整形外科、リハビリテーション科その他の総務省で定める診療科名をいう。(2)(i)において同じ。）を有すること。
- (ii) 医療法（昭和23年法律第205号）第7条第2項第4号に規定する療養病床又は同項5号に規定する一般病床を有すること。



### 3 過去5年間の建築確認申請処理状況

「年度」

年 別	確認申請		許可申請		計画通知	総数	住宅の確認申請通知
	同意	不同意	同意	不同意			
26年	188		29		8	225	334
27年	160		28		10	198	300
28年	179		22		14	215	329
29年	135		25		10	170	293
30年	124		22		5	151	273

### 4 月別建築確認申請処理状況

「年度」

月 別	確認申請		許可申請		計画通知	総数	住宅の確認申請通知
	同意	不同意	同意	不同意			
4月	24		8			32	23
5月	16		5		2	23	25
6月	14		5			19	16
7月	7		1			8	28
8月	14		2		2	18	12
9月	5					5	30
10月	8		1			9	26
11月	6					6	22
12月	12					12	37
1月	2					2	17
2月	7					7	26
3月	9				1	10	11
計	124	0	22	0	5	151	273

5 消防用設備等設置届出受理状況

「年度」

設置別	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
屋内消火栓設備			1									1	2	
スプリンクラー設備		1	1	1								1	4	
不活性ガス消火設備													0	
粉末消火設備	2	2					1			1	4		10	
屋外消火栓設備							1				1	1	3	
動力消防ポンプ設備										1			1	
自動火災報知設備	7	5	3	7	3	11	9	12	11	9	8	22	107	
共同住宅用非常警報設備												2	2	
消防機関へ通報する 火災報知設備					1					2			3	
非常警報設備	1	1	1	1			2		1		1	1	9	
非常放送設備										1		2	3	
避難器具									1				1	
誘導灯	3	2	2	2		4	2		4	13	3	4	39	
連結散水設備													0	
連結送水管													0	
ハロゲン化物消火設備												1	1	
パッケージ型 消火設備								1					1	
計	13	11	8	11	4	15	15	13	17	27	17	35	186	

## 6 危険物施設数

「平成31. 4. 1」

区分		年別				
		27年	28年	29年	30年	31年
貯蔵所	屋内貯蔵所	46	46	46	45	41
	屋外タンク貯蔵所	54	51	53	53	52
	屋内タンク貯蔵所	7	7	6	6	6
	地下タンク貯蔵所	101	101	96	91	91
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1
	移動タンク貯蔵所	78	80	85	85	81
	屋外貯蔵所	4	3	3	3	3
取扱所	給油取扱所	73	71	69	69	67
	第1種販売取扱所	2	2	2	2	2
	第2種販売取扱所	1	1	1	1	1
	一般取扱所	105	105	105	105	105
計		472	468	467	461	450

7 市町村別危険物施設数

「平成31. 4. 1」

市町村名		柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計
区分					
貯蔵所	屋内貯蔵所	34	3	4	41
	屋外タンク貯蔵所	38	11	3	52
	屋内タンク貯蔵所	6			6
	地下タンク貯蔵所	75	4	12	91
	簡易タンク貯蔵所	1			1
	移動タンク貯蔵所	77	3	1	81
	屋外貯蔵所	3			3
取扱所	給油取扱所	57	5	5	67
	第1種販売取扱所	2			2
	第2種販売取扱所	1			1
	一般取扱所	75	19	11	105
計		369	45	36	450

## 8 危険物施設申請届出関係事務処理状況

「年度」

区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
設置許可	1	1	1	1	1	1	1				1		8	
変更許可	3	2	5	7	5	2	1	2	1	7	5	2	42	
設置完成検査	1		1	1	1		1	1	1		1		8	
変更完成検査	1	3	6	6	5	1	3	2		1	6	6	40	
完成検査	水張					1							1	
前検査	水圧				1								1	
仮使用承認	2	1		5	3		1	1	1	3	5	2	24	
廃止届		1	1	3	1	2	3	2	1	2		1	17	
譲渡引渡届		1							4				5	
種類数量変更届				2						1	1	1	5	
仮貯蔵・仮取扱承認		5	1	3	1			4	1	1		2	18	
危険物保安監督者選任・解任届	12		7		2	1		1	2		10	2	37	
計	20	14	22	28	20	8	10	13	11	16	28	16	206	

※移動タンク貯蔵所の変更許可数は、常置場所の変更に伴う転出、転入を含む。



## 9 火薬類・武器（猟銃）施設数、届出事務処理状況

【火薬類】

施設数：「平成31. 4. 1」

届出件数：「年度」

区分		項目	施設数	届出件数
		製造（煙火）	1	4
販売		産業火薬類	1	1
		実包・猟用火薬類		
		船舶用火工品		
		建設用鋌打ち 銃用空包		
		煙火		
		競技用紙雷管	2	
貯蔵 （棟数）		一級火薬庫	4	8
		二級火薬庫		
		三級火薬庫		
		実包火薬庫		
		煙火火薬庫	2	4
		がん具煙火 貯蔵庫		
		庫外貯蔵所	6	1
計			16	18

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

【武器（猟銃）】

施設数：「平成31. 4. 1」

届出件数：「年度」

区分		項目	施設数	届出件数
販売		猟銃	1	1

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

## 10 火薬類許可件数

「年度」

件数	区分	譲渡	譲受	譲受 ・消費	煙火 消費	廃棄	火薬庫 設置等	販売	製造等	計
件数				2	4					6

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

## 11 高圧ガス保安法事業所数、申請届出事務処理状況

事業所数：「平成31. 4. 1」

許可件数、完成検査件数、届出件数：「年度」

用途別	区分	事業所数	許可件数		完成検査件数		届出件数
			設置登録	変更更新	設置	変更	
第1種製造者	コンビナート						
	一般ガス	6					11
	LPガス	1					
	一般・LP						
	冷凍	1					
第2種製造者		55	—		—		10
販売業者	一般ガス	45	—		—		2
	LPガス	8	—		—		8
	一般・LP	5	—		—		
	冷凍のみ		—		—		1
高圧ガス貯蔵所	第1種貯蔵所	5		1			4
	第2種貯蔵所	13	—		—		6
特定高圧ガス消費者		5	—		—		2
容器検査所		8		2	—		3
計		152	0	3	0	0	47

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

## 12 高圧ガス保安検査受検数

「年度」

液化石油ガス製造事業所	市町村	
	高圧ガス保安協会	
	指定保安検査機関	1
一般高圧ガス製造事業所	市町村	
	高圧ガス保安協会	3
	指定保安検査機関	
冷凍関係製造事業所	市町村	
	高圧ガス保安協会	
	指定保安検査機関	

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

### 13 液化石油ガス法事業所数、申請届出事務処理状況

事業所数：「平成31. 4. 1」

許可件数、完成検査件数、届出件数：「年度」

用途別	事業所数	許可件数		完成検査件数		届出件数
		登録 認定 設置	更新 変更	設置	変更	
販売所	6			—	—	8
保安機関	6		5	—	—	13
充填設備	1					2
特定供給設備	3					
設備工事事業	30	—	—	—	—	7
計	46	0	5	0	0	30

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

### 14 液化石油ガス法保安検査受検数

「年度」

充填設備	市町村	
	指定保安検査機関	1

※ 刈羽村、出雲崎町を除く。

### 15 防火標語

(1) 平成31年度(2019年度)柏崎市消防本部 防火標語

	入選作品	学校名	氏名
最優秀標語	おかあさん ケータイ見るより 火を見てね	柏崎市立柏崎小学校	しなだ わかな 品田 和奏
優秀標語	めざそうよ みんなで火事ゼロ 柏崎	柏崎市立田尻小学校	うめざわ ももか 梅沢 百華
	出した火は 消すまでずっと 自分の火	柏崎市立枇杷島小学校	きたむら ゆうせい 北村 雄星
	行ってきます 一度とまって 火の確認	柏崎市立比角小学校	こばやし ゆいな 小林 結菜

(2) 過去の最優秀標語

平成30年度	「ちょっとだけ」火から離れる 気の緩み	柏崎市立北鯖石小学校	もとい きな 元井 咲菜
平成29年度	消したかな 思い出すより 目で確認	柏崎市立比角小学校	うえき 植木 あずさ
平成28年度	消したかな 後で見るより 今見よう	柏崎市立比角小学校	ひろかわ はるな 広川 陽菜
平成27年度	便利な火 使う危険を 考えて	柏崎市立北条小学校	せきね はるか 関根 遥
平成26年度	守ろう！！ 住警器で 家族の命と思い出を	柏崎市立半田小学校	むらた かなな 村田 菜那

警 防

# 1 火災の概況

「年」

区分	単位	平成 29 年	平成 30 年	前年比較増減
出火件数	件	32	32	0
建物		21	16	△ 5
林野			1	1
車両		2	1	△ 1
その他		9	14	5
焼損棟数	棟	41	19	△ 22
全焼		13	4	△ 9
半焼			1	1
部分焼		20	3	△ 17
ぼや		8	11	3
建物焼損面積	m <sup>2</sup>	1,494	771	△ 723
林野焼損面積	a		2	2
死者	人	1		△ 1
傷者	人	7	3	△ 4
り災世帯数	世帯	30	9	△ 21
全損		9	2	△ 7
半損				
小損		21	7	△ 14
り災人員	人	54	19	△ 35
損害額	千円	71,186	19,415	△ 51,771
建物		70,644	18,751	△ 51,893
林野				
車両		540	42	△ 498
その他		2	622	620
出火率	件	3.4	3.4	0.0

※出火率：人口1万人当たりの出火件数

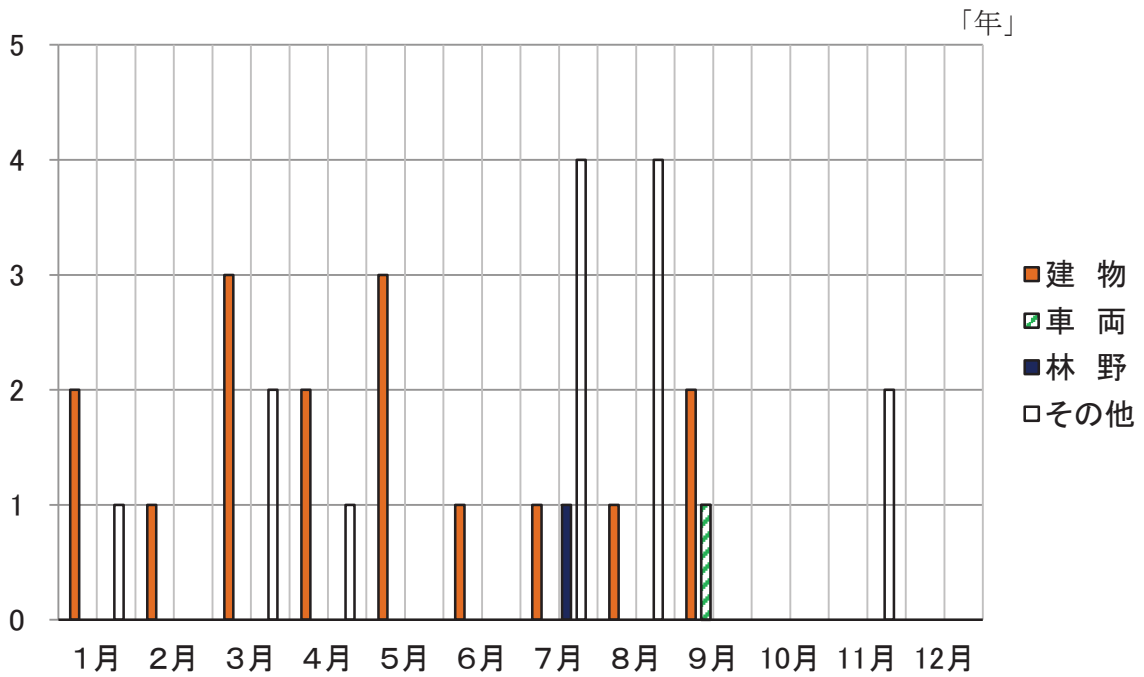
人口：住民基本台帳（平成30年12月31日現在）による。

## 2 火災総括表

「年」

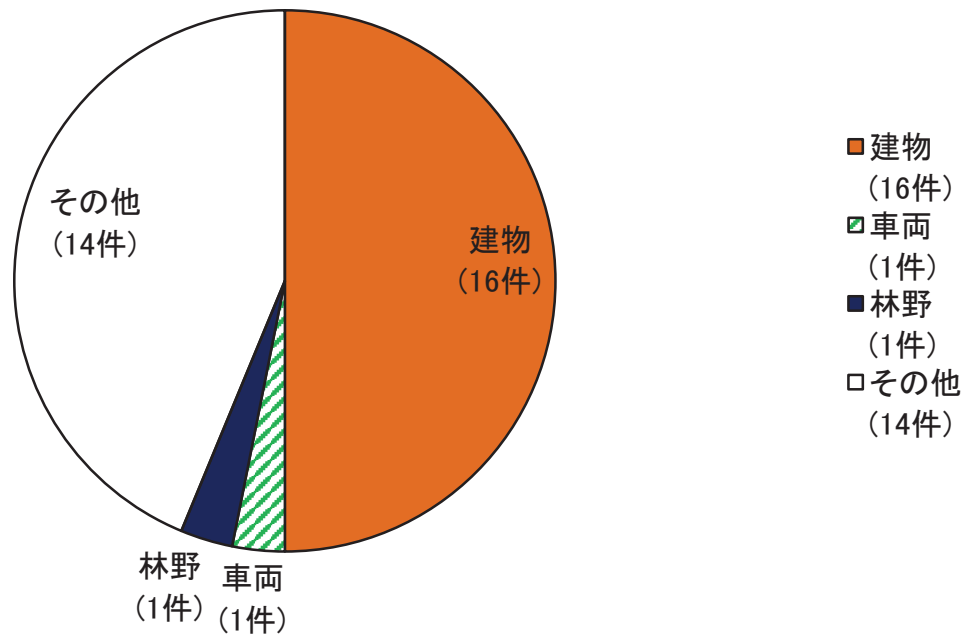
月 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		火災種別	建物	2	1	3	2	3	1	1	1	2		
林野								1						1
車両										1				1
その他	1			2	1			4	4			2		14
計	3		1	5	3	3	1	6	5	3	0	2	0	32
焼損棟数	全焼			1			1	1		1				4
	半焼					1								1
	部分焼			1		2								3
	ぼや	2	1	3	2	1			1	1				11
焼損面積	建物㎡			245		71	194	3		258				771
	林野 a							2						2
り災世帯数	全損			1			1							2
	半損													0
	小損	1		2	1	2			1					7
死傷者	死者													0
	傷者			1				1		1				3
損害額 千円	建物	226	107	6,765	4	3,841	3,892	15		3,901				18,751
	林野													0
	車両									42				42
	その他	1						202	1			418		622
	計	227	107	6,765	4	3,841	3,892	217	1	3,943	0	418	0	19,415

### 月別火災発生状況



### 火災種別発生状況

「年」



### 3 市町村別火災状況及び住宅用火災警報器設置率

柏崎市 「年」

火災種別	件数	損害額	焼損面積	死者	傷者
建物	14	18,748	771		2
林野	1		2		
車両	1	42			
その他	9	420			
計	25	19,210	771 m <sup>2</sup> 2 a	0	2

出雲崎町 「年」

火災種別	件数	損害額	焼損面積	死者	傷者
建物	2	3			
林野					
車両					
その他	2	202			
計	4	205	0 m <sup>2</sup> 0 a	0	0



刈羽村 「年」

火災種別	件数	損害額	焼損面積	死者	傷者
建物					
林野					
車両					
その他	3				1
計	3	0	0 m <sup>2</sup> 0 a	0	1

(注) 損害額の単位 千円

#### 【住宅用火災警報器設置率】

「平成31. 4. 1」

	設置率	条例適合率
全体	94.4%	87.3%
柏崎市	94.3%	86.8%
刈羽村	97.0%	93.1%
出雲崎町	93.7%	92.0%

※「設置率」とは、柏崎市火災予防条例で設置が義務付けられている寝室や階段のうち、一箇所以上設置されている世帯の割合。

※「条例適合率」とは、柏崎市火災予防条例で設置が義務付けられている寝室や階段の全てに設置されている世帯の割合。



#### 4 原因別火災件数

「年」

火災種別 区分		建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計
		たき火				5
電灯・電話等の配線	1			2	3	
電気機器	3				3	
こんろ	2				2	
電気装置	2				2	
配線器具	2				2	
たばこ				1	1	
炉	1				1	
排気管			1		1	
溶接機				1	1	
その他	3			3	6	
不明・調査中	2	1		2	5	
計	16	1	1	14	32	

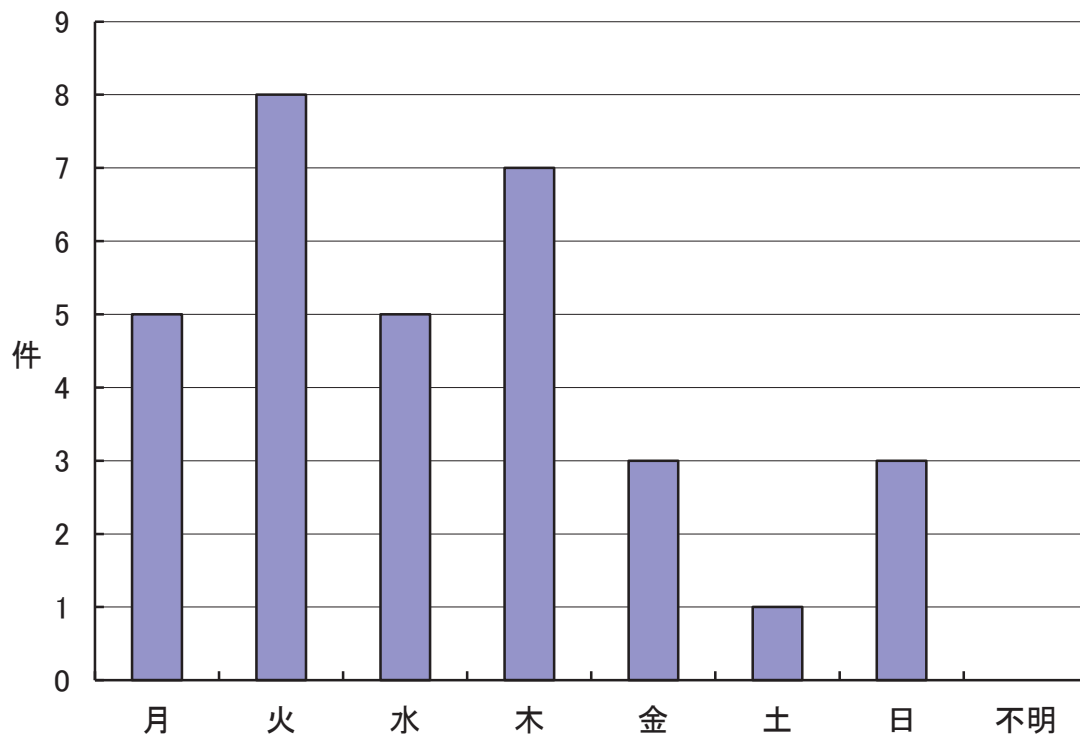
#### 5 過去10年間の火災による死者

「年」

年齢別 年別	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	不明	計
	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	以上		
21年																1	1
22年							1										1
23年											1				2		3
24年													1				1
25年												1					1
26年																	0
27年															2		2
28年									1				2		1		4
29年											1						1
30年																	0
計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	2	1	5	1	14

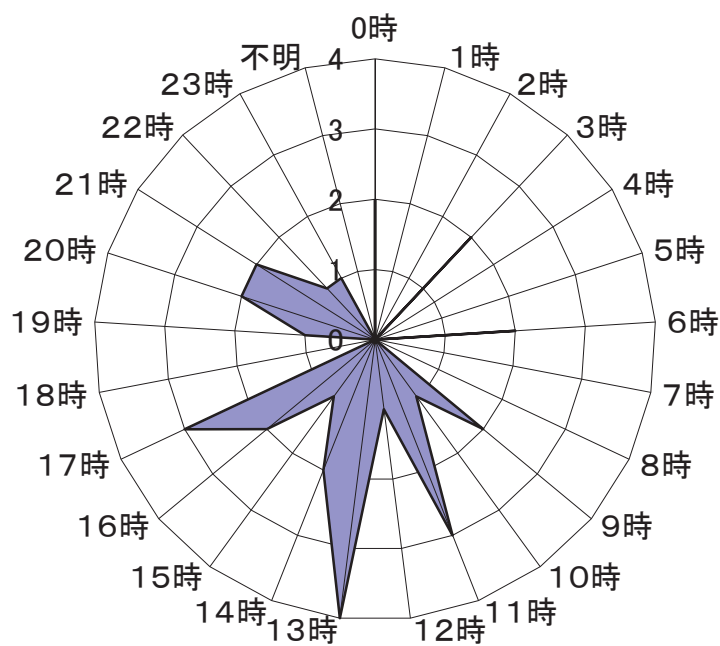
## 6 曜日別出火件数

「年」



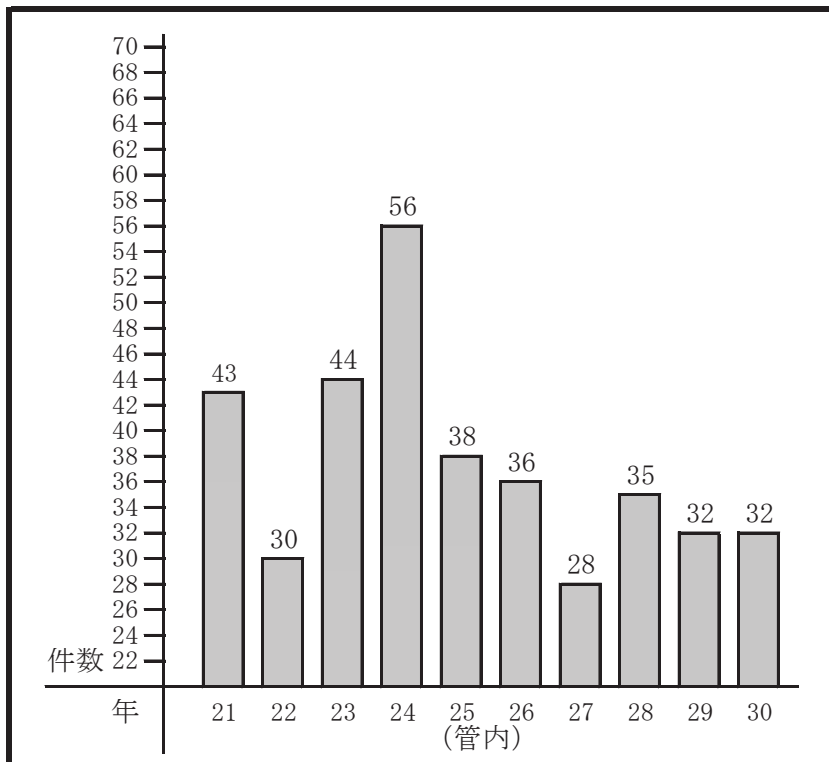
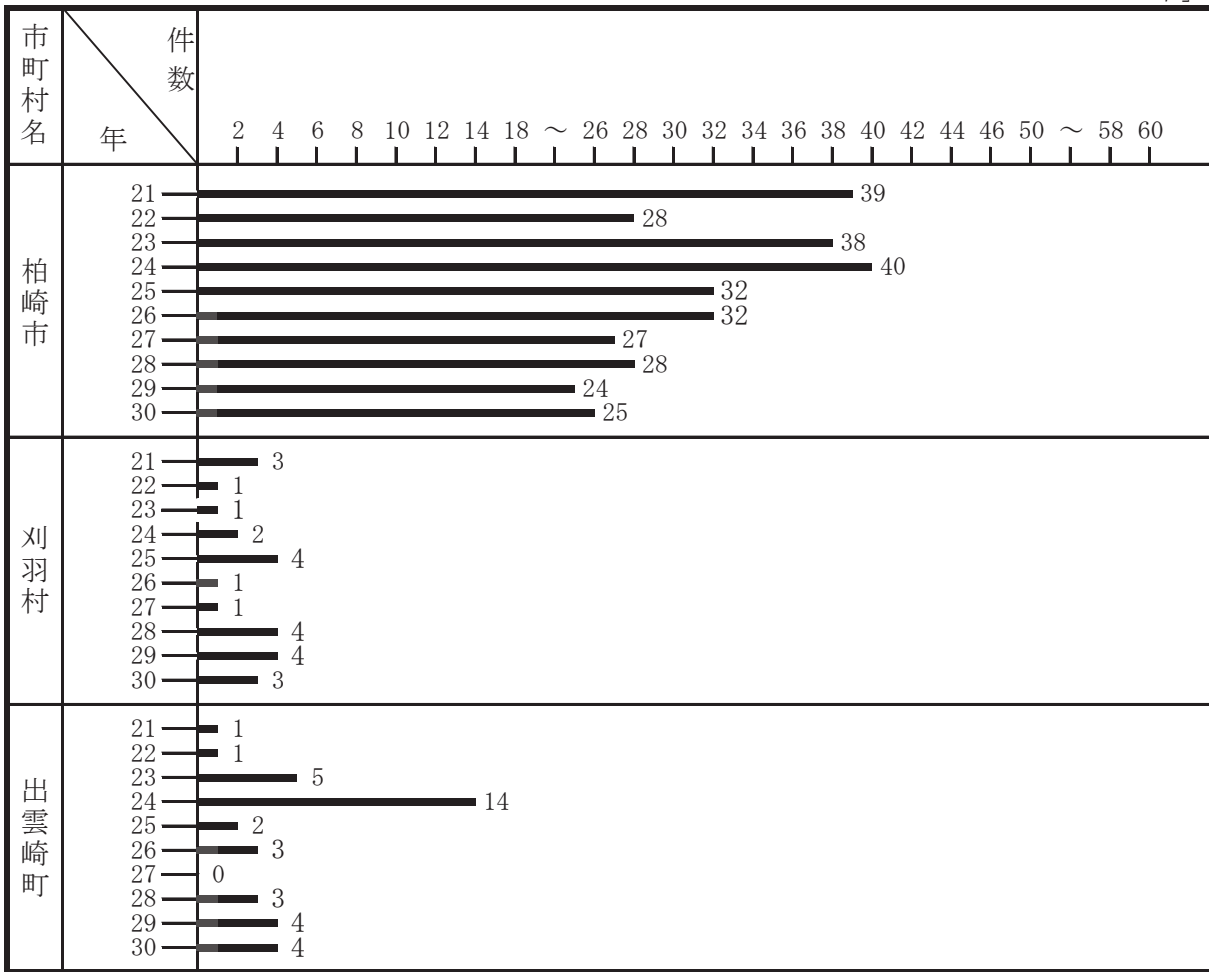
## 7 時間別出火件数

「年」



# 8 市町村別10年間の火災発生数の推移

「年」



9 火災出場状況

「年」

市町村別・署所別 出場内容	市町村別件数					署所別出場					
	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	管外	計	本部・署	西分署	高柳	西山	出雲崎	計
炎上火災	15	3	2		20	20 79 268 〔 13〕	8 12 49 〔 6〕	5 5 18 〔 1〕	8 8 38 〔 2〕	3 3 12 〔 〕	44 107 385 〔 22〕
出火消し止め、事後聞知	10		2		12	8 34 106	6 8 30	1 1 3	4 6 20	2 3 8	21 52 167
計	25	3	4	0	32	28 113 374 〔 13〕	14 20 79 〔 6〕	6 6 21 〔 1〕	12 14 58 〔 2〕	5 6 20 〔 0〕	65 159 552 〔 22〕

10 その他の災害出場状況

「年」

市町村別・署所別 出場内容	市町村別件数					署所別出場					
	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	管外	計	本部・署	西分署	高柳	西山	出雲崎	計
非火災	28				28	17 38 146	14 14 57	1 1 4	9 10 46	2 2 8	43 65 261
誤報・誤認	9	2	1		12	6 12 46	4 5 19		3 5 15	2 3 8	15 25 88
油漏洩	19	1	1		21	12 12 48	8 8 35		3 5 14		23 25 97
ガス漏洩・異臭	2				2	1 3 9	2 3 12				3 6 21
自然災害	10	3			13	6 6 24	6 6 27	1 2 4	3 5 15		16 19 70
自火報発報	46	6	3		55	44 52 219	36 36 147		19 21 96	7 7 28	106 116 490
他警報器発報	17	3			20	12 12 55	12 12 47		3 3 15	3 3 12	30 30 129
救急支援	139	7	6		152	61 61 259	60 60 246	2 2 4	25 25 63	5 5 10	153 153 582
119番無応答	16	1	1		18	7 13 50	8 15 56	1 2 4	2 4 11	1 2 4	19 36 125
焚火	18	2			20	7 7 33	7 7 28		6 11 29		20 25 90
虚偽・その他	21	3	3		27	17 21 86	3 3 12	2 4 8	9 15 42	1 2 4	32 45 152
へりポート支援	65	1	6		72	52 52 217	11 11 46	2 2 5	8 8 17	2 2 5	75 75 290
計	390	29	21	0	440	242 289 1,192	171 180 732	9 13 29	90 112 363	23 26 79	535 620 2,395

11 警戒業務運行状況

「年」

運行内容	署所別					計
	本部・署	西分署	高柳	西山	出雲崎	
火災警戒	4	2				6
	4	2				6
	14	10				24
強風等警戒	2	3	5	4	12	26
	2	3	10	8	22	45
	8	13	20	24	48	113
災害警戒	9	4	5	6	4	28
	9	3	4	11	6	33
	34	13	8	27	16	98
年末年始特別警戒	6	6	6	6	6	30
	6	7	6	5	12	36
	22	29	12	16	25	104
催物警備	9	6	2		1	18
	9	12	4		2	27
	108	44	8		5	165
特命警戒	23	26	28	30	22	129
	23	30	56	51	41	201
	72	123	84	142	90	511
計	53	47	46	46	45	237
	53	57	80	75	83	348
	258	232	132	209	184	1015

(1) 火災警戒

ガス漏れその他火災発生の危険がある事象が発生し、又は発生するおそれがある場合

(2) 強風等警戒

火災警報等が発令された場合又はこれに準ずる気象状況時において必要と認められたとき

(3) 災害警戒

風水害等の災害に関する予警報が発表された場合又は発表されない場合であっても災害の警戒が必要と認められるとき

(4) 年末年始特別警戒

12月29日から翌年1月3日までの間

(5) 催物警備

催物等の行事に対して必要と認められるとき

(6) 特命警戒

消防長が特に命ずる場合

12 各種訓練等の状況

「年」

訓練区分 本部・署(所)別		消防訓練	放水訓練	地形 走行 訓練	ポン プ 操 法 訓 練	規 律 訓 練	実 技 訓 練	そ の 他	計
出場 回数	本部・署	15	57	88	16	17		146	339
	西分署	5	78	126	12	10		301	532
	高柳分遣所	2	70	121	21	13		502	729
	西山分遣所	6	68	164	19	19		449	725
	出雲崎分遣所	4	42	132	27	5		353	563
	計	32	315	631	95	64		1,751	2,888
出場 台数	本部・署	46	87	122				62	317
	西分署	7	78	157				104	346
	高柳分遣所	4	133	236				38	411
	西山分遣所	10	83	316	4			56	469
	出雲崎分遣所	6	66	258	4			48	382
	計	73	447	1,089	8	0		308	1,925
出場 人員	本部・署	353	415	453	200	218		934	2,573
	西分署	22	461	610	81	59		1,767	3,000
	高柳分遣所	8	278	486	84	52		2,007	2,915
	西山分遣所	32	360	871	93	101		2,138	3,595
	出雲崎分遣所	13	168	531	106	20		1,395	2,233
	計	428	1,682	2,951	564	450		8,241	14,316

消防訓練 ————— 本部・署の合同訓練、分遣所と役場・消防団の合同訓練

放水訓練 ————— 放水したもの全て（小型ポンプも含む）

地形走行訓練 ————— 水利・道路調査、水利整備、水利確保、走行訓練

ポンプ操法訓練 ————— ポンプ車操法、小型ポンプ操法

規律訓練 ————— 消防訓練礼式、通常点検

実技訓練・その他 ————— その他の訓練全て

## 13 消防水利

### (1) 消防法基準適合水利数

「平成31. 4. 1」

水利別		市町村名	計	柏崎市	刈羽村	出雲崎町
		総数 A + B				
消火栓	小計 A		1,937	1,794	69	74
	公設	差込式	1,909	1,767	68	74
	私設	差込式	28	27	1	
防火水そう	小計 B	100m <sup>3</sup> 以上	27	24	1	2
		40m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	258	156	41	61
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	58	58	0	0
		20m <sup>3</sup> 未満	0	0	0	0
	公設	100m <sup>3</sup> 以上	12	12		
		40m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	229	134	34	61
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	57	57		
		20m <sup>3</sup> 未満	0			
	私設	100m <sup>3</sup> 以上	15	12	1	2
		40m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	29	22	7	
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	1	1		
		20m <sup>3</sup> 未満	0			

※防火水そうの20m<sup>3</sup>以上40m<sup>3</sup>未満には、バルブ付で基準適合のものを計上

## (2) 現有水利数

「平成31. 4. 1」

水利別		市町村名	計	柏崎市	刈羽村	出雲崎町
		総数A+B				
消火栓	小計A		2,745	2,327	167	251
	公設	差込式	2,708	2,293	165	250
	私設	差込式	37	34	2	1
防火水そう	小計B	100m <sup>3</sup> 以上	27	24	1	2
		40m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	258	156	41	61
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	251	231	5	15
		20m <sup>3</sup> 未満	65	53	0	12
	公設	100m <sup>3</sup> 以上	12	12		
		40m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	229	134	34	61
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	241	222	5	14
		20m <sup>3</sup> 未満	65	53		12
	私設	100m <sup>3</sup> 以上	15	12	1	2
		40m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	29	22	7	
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	10	9		1
		20m <sup>3</sup> 未満	0			



14 消防車両配置状況（消防力の整備指針に基づく車両）

「平成31. 4. 1」

本部・署（所）別 車種	本部 ・ 署	西 分署	高柳 分遣所	西山 分遣所	出雲崎 分遣所	計
消防ポンプ自動車	3	2	1	1	1	8
はしご自動車	1	1				2
化学消防車	1	1		1		3
救急自動車	2	1	1	1	1	6
救助工作車	1					1
指揮車	1					1
小型動力ポンプ付水槽車	1					1
資機材搬送車	2					2
人員搬送車 (マイクロバス)	1					1
広報車	1					1
火災原因調査車	1					1
指揮支援車	1					1
その他の車両	3					3
計	19	5	2	3	2	31

15 保有車両明細

「平成31. 4. 1」

種別 配置 場所	車名	車種 車体形状	型級別	ポンプ 級別	艀装 メーカー	登録 年月日	車齡	装備
本部・署	指令1号車	スズキランディー 指揮支援車	—	—	サンワーズ(株)	H22. 8. 9	8	
〃	指揮1号車	トヨタハイエース 指揮車	—	—	サンワーズ(株)	H27.10.28	3	
〃	指令3号車	トヨタボクシー 広報車	—	—	(株)橋詰商会	H22. 3.10	9	
〃	予防1号車	トヨタハイエース 火災原因調査車	—	—	サンワーズ(株)	H29.11.10	1	
〃	消防1号車	日野レンジャー 消防ポンプ自動車	Ⅱ 型	A-1	GMいちほら 工業(株)	H12.12.20	18	積載水 2,000ℓ
〃	消防2号車	日野デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	長野 ポンプ(株)	H16.10.25	14	小型動力ポンプ
〃	消防3号車	日野レンジャー 消防ポンプ自動車	I-A型	A-2	(株)モリタ	H27. 2. 9	4	積載水 1,500ℓ 伸縮式照明装置 大型油圧救助器具 圧縮空気泡消火装置
〃	消防4号車	三菱キャンター 資機材搬送車	—	—	(株)柏新商会	H24.11.13	6	垂直パワーゲート
〃	消防5号車	ニッサンシビリアン 人員搬送車	—	—	新潟日産 自動車(株)	H18. 7.28	12	
〃	消防21号車	スズキパレット その他の車両	—	—	サンワーズ(株)	H22. 6.30	8	
〃	消防22号車	トヨタライトエース その他の車両	—	—	(有)品田商会	H24. 8. 9	6	
〃	消防23号車	日産eNV200 その他の車両	—	—	(株)日産 サテリオ	H29.3.17	2	
〃	水槽1号車	日野レンジャー 小型動力ポンプ付 水槽車	I 型	B-2	日本機械 工業(株)	H26. 1. 9	5	積載水 5,000ℓ
〃	化学1号車	三菱ファイター 化学消防車	Ⅱ型	A-2	日本機械 工業(株)	H 8. 1. 8	23	積載水 1,300ℓ 薬液 500ℓ 高発泡装置
〃	救助1号車	三菱スーパーゲート 救助工作車	Ⅱ型	—	GMいちほら 工業(株)	H11. 3.18	20	大型油圧救助器具 クレーン・ウインチ 伸縮式照明装置
〃	救助2号車	いすゞフォワード 資機材搬送車	—	—	日本機械 工業(株)	H16.11.19	14	水災害用コンテナ 特殊災害用コンテナ パワーゲート

種別 配置場所	車名	車種 車体形状	型級別	ポンプ 級別	機装 メーカー	登録 年月日	車齢	装備
本部・署	梯子1号車	日野 はしご自動車	30m級	—	(株)モリタ	H16. 2. 9	15	発動発電機 高圧噴霧放水装置
〃	救急1号車	トヨタハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H28. 2. 24	3	防振ベッド一体型モニター 除細動器
〃	救急2号車	トヨタハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H22. 8. 24	8	防振ベッド一体型モニター 除細動器
〃	ホイール ローダー	ミニホイールローダー トラクターショベル	—	—	(株)柏新商会	H25. 9. 25	5	
西分署	消防6号車	日野デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	日本機械 工業(株)	H22. 3. 10	9	小型動力ポンプ
〃	消防7号車	日野デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H29. 12. 28	1	積載水 6000 圧縮空気泡消火装置 小型動力ポンプ
〃	化学2号車	日野レンジャー 化学消防車	II型	A-2	日本機械 工業(株)	H25. 3. 7	6	積載水 1,300ℓ 薬液 500ℓ 圧縮空気泡消火装置 電動油圧救助器具
〃	梯子2号車	日野レンジャー はしご自動車	15m級	A-2	(株)モリタ	H23. 1. 14	8	
〃	救急3号車	トヨタハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H30. 9. 19	0	防振ベッド一体型モニター 除細動器
高柳 分遣所	高柳消防 1号車	日野デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H24. 11. 26	6	積載水 6000 圧縮空気泡消火装置 手動油圧救助器具 小型動力ポンプ
〃	高柳救急 1号車	トヨタハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H23. 10. 21	7	防振ベッド一体型モニター 除細動器
西山 分遣所	西山消防 1号車	日野デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H24. 1. 13	7	積載水 6000 圧縮空気泡消火装置 手動油圧救助器具 小型動力ポンプ
〃	西山救急 1号車	トヨタハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H28. 9. 15	2	防振ベッド一体型モニター 除細動器
〃	化学3号車	日野レンジャー 化学消防車	II型	A-2	(株)モリタ	H22. 7. 12	8	積載水 1,300ℓ 薬液 500ℓ 圧縮空気泡消火装置 電動油圧救助器具
出雲崎 分遣所	出雲崎消防 1号車	日野デュトロ 消防ポンプ自動車	CD-I型	A-2	(株)モリタ	H24. 1. 13	7	積載水 6000 圧縮空気泡消火装置 手動油圧救助器具 小型動力ポンプ
〃	出雲崎救急 1号車	トヨタハイエース 救急自動車	高規格	—	トヨタテクノ クラフト(株)	H29. 9. 21	1	防振ベッド一体型モニター 除細動器

16 無線施設

「平成31. 4. 1」

種別			本部・署(所)別		高柳分遣所	西山分遣所	出雲崎分遣所	聖ヶ鼻	計
			本部・署	西分署					
消防無線 デジタル	基地局		1		1	1	1	1	5
	陸上移動局	車載	16	5	2	3	2		28
		可搬	4	2		1			7
		携帯	38	9	4	6	4		61
新相模 阿ノログ 相互無線 防線 災	陸上移動局	車載	17	5	2	3	2		29
		可搬	5	2		1			8
		携帯	1						1
防災行政無線	柏崎市	固定系	遠隔制御装置	1					1
	刈羽村	固定系	遠隔制御装置	1					1
	出雲崎町	固定系	遠隔制御装置	1					1

17 緊急通報等受付状況

「年」

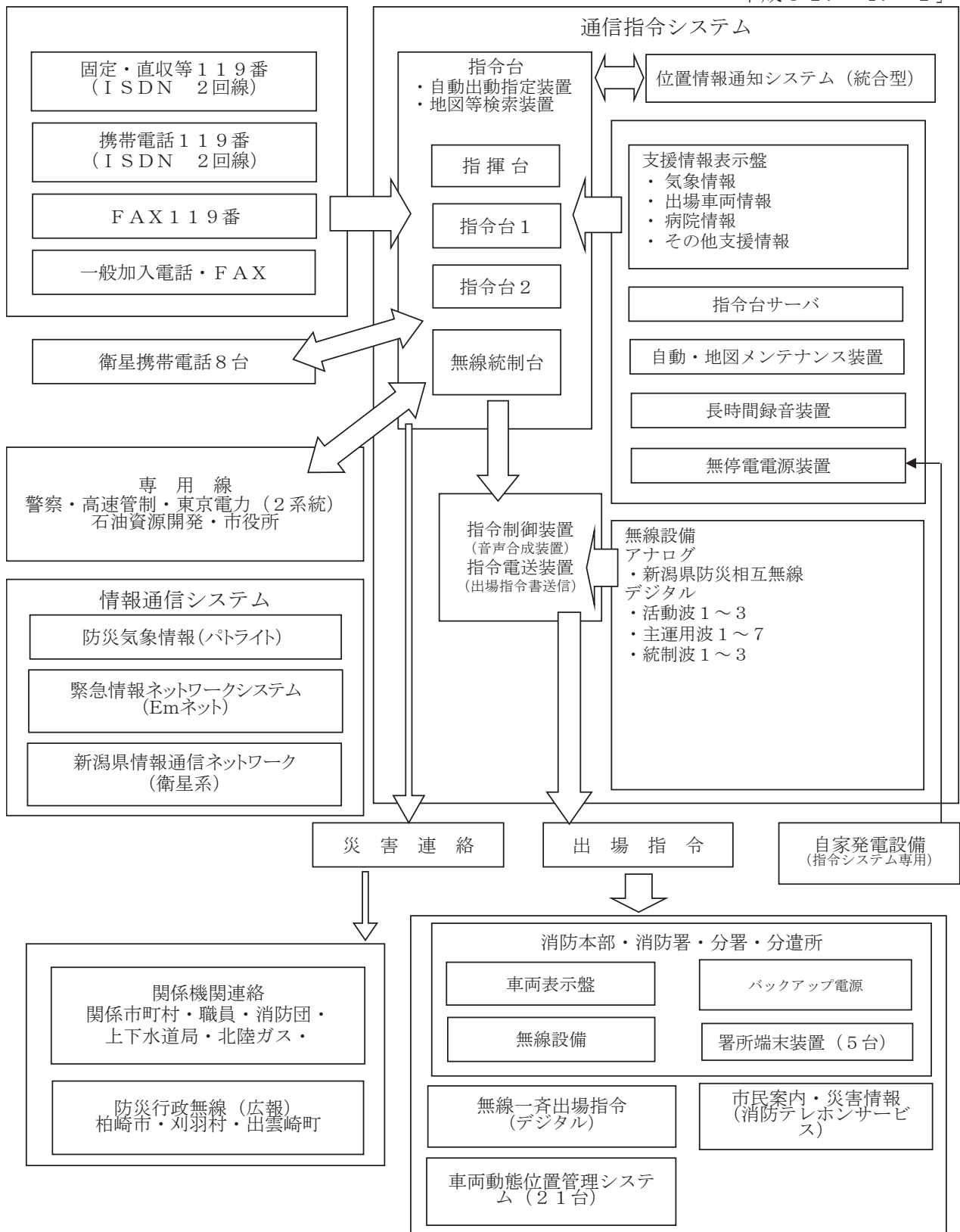
区分		月												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報	119番	1	1		1			2	3	1		1		10
	携帯119	1		4	1	2	1	4	1			1		15
	携帯転送													0
	一般電話	1			1	1			1					4
	警察電話								1					1
	高速管制													0
	かけつけ													0
	その他			1							1			
救急通報	119番	263	196	164	173	189	153	206	223	167	191	167	194	2,286
	携帯119	79	91	85	81	80	95	114	111	94	87	96	78	1,091
	携帯転送	1		5		4		1	1	2	3	1	3	21
	一般電話	28	22	24	31	29	26	22	23	25	27	22	21	300
	警察電話	13	10	10	17	13	21	10	24	16	16	12	24	186
	高速管制	4	8			1	1				2			16
	かけつけ	6	3	1		3	1	2	3	2	4	2	2	29
	その他	1	2				2	3	5	2	2	1	2	
その他災害	119番	24	16	17	10	4	8	8	9	11	6	10	8	131
	携帯119	8	10	7	10	12	8	11	11	7	10	6	5	105
	携帯転送										1			1
	一般電話	15	8	10	4	5	6	7	10	14	10	2	3	94
	警察電話	1	4	3	2	1	3	1	6	5	7	3	3	39
	高速管制													0
	かけつけ						2					1		3
	その他				6	2	3	2	3	6	7	3	3	

その他の 119番通 報	問い合わせ	27	16	21	17	13	17	25	28	35	20	25	24	268
	試験	19	17	30	24	31	31	24	14	14	23	43	60	330
	いたずら	6	4	6	2	5	4	1	2		3	2	1	36
	まちがい	11	13	14	10	20	12	12	32	13	11	24	14	186
	その他	9	7	8	12	16	6	6	10	9	9	6	12	110

市民案内・災害情報 (消防テレホンサービス)	10,953	7,550	10,271	6,063	11,456	9,139	9,949	11,208	10,482	11,273	6,588	5,832	110,764
---------------------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	---------

# 18 通信系統図

「平成31. 4. 1」



19 救急総括表

「年」

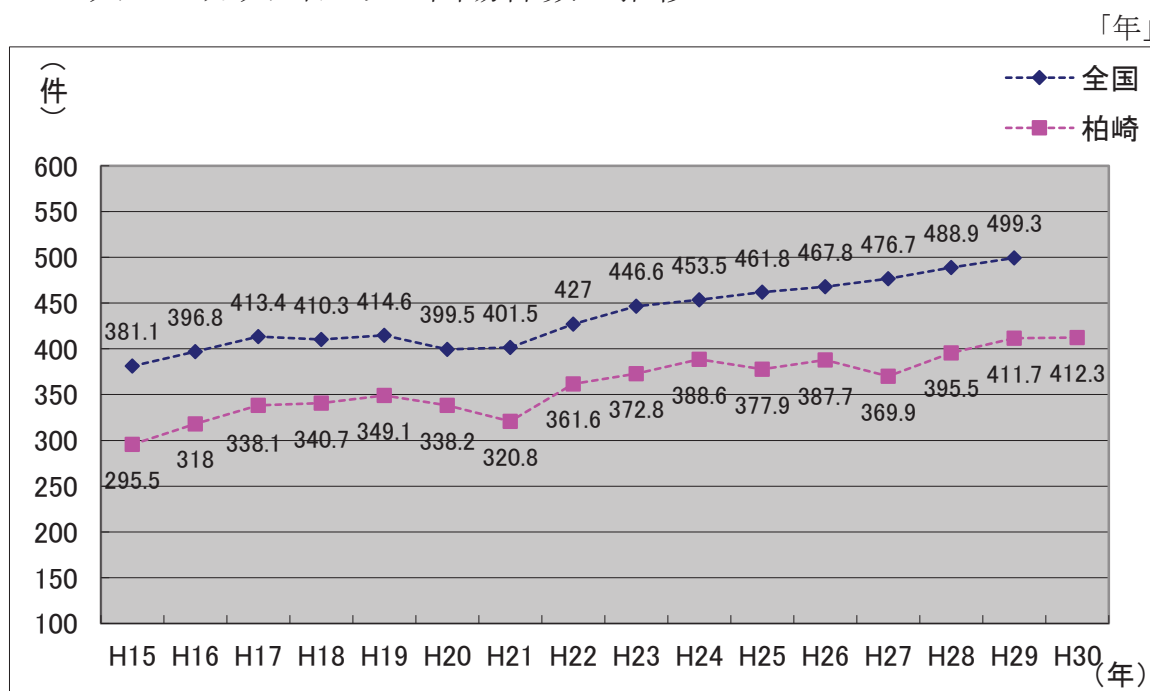
市町村別	区分	事故種別													計	
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院	医師	資器材		その他
柏崎市	出場件数	18		10	236	25	21	552	9	32	2,281	287	7		44	3,522
	不搬送件数	16		5	21		1	17		12	111	2	7		44	236
	搬送人員	2		6	252	25	20	539	9	20	2,171	286				3,330
刈羽村	出場件数	1			15	2	8	27	1	4	118	2			3	181
	不搬送件数				2					2	7				3	14
	搬送人員	1			16	2	8	27	1	2	111	2				170
出雲崎町	出場件数	2		2	11	6	1	42		2	179	4	1		1	251
	不搬送件数	2		1	2			2			8		1		1	17
	搬送人員			1	9	6	1	40		2	171	4				234
管外	出場件数				10											10
	不搬送件数				10											10
	搬送人員															0
計	出場件数	21	0	12	272	33	30	621	10	38	2,578	293	8	0	48	3,964
	不搬送件数	18	0	6	35	0	1	19	0	14	126	2	8	0	48	277
	搬送人員	3	0	7	277	33	29	606	10	24	2,453	292	0	0	0	3,734

## 20 市町村別救急出場件数過去5年間の推移

「年」

市町村別	区分	26年	27年	28年	29年	30年
柏崎市	出場件数	3,481	3,331	3,363	3,515	3,522
	搬送人員	3,284	3,119	3,184	3,348	3,330
刈羽村	出場件数	167	165	160	187	181
	搬送人員	160	160	146	172	170
出雲崎町	出場件数	267	238	271	249	251
	搬送人員	246	236	255	240	234
管外	出場件数	7	8	10	7	10
	搬送人員	5	7	8	5	0
計	出場件数	3,922	3,742	3,804	3,958	3,964
	搬送人員	3,695	3,522	3,593	3,765	3,734
指数	出場件数	100.0	95.4	97.0	100.9	101.1
	搬送人員	100.0	95.3	97.2	101.9	101.1

## 21 人口1万人当たりの出場件数の推移



※平成30年以降全国の出場件数は未発表（平成31年6月現在）



## 22 覚知時刻別搬送人員の状況

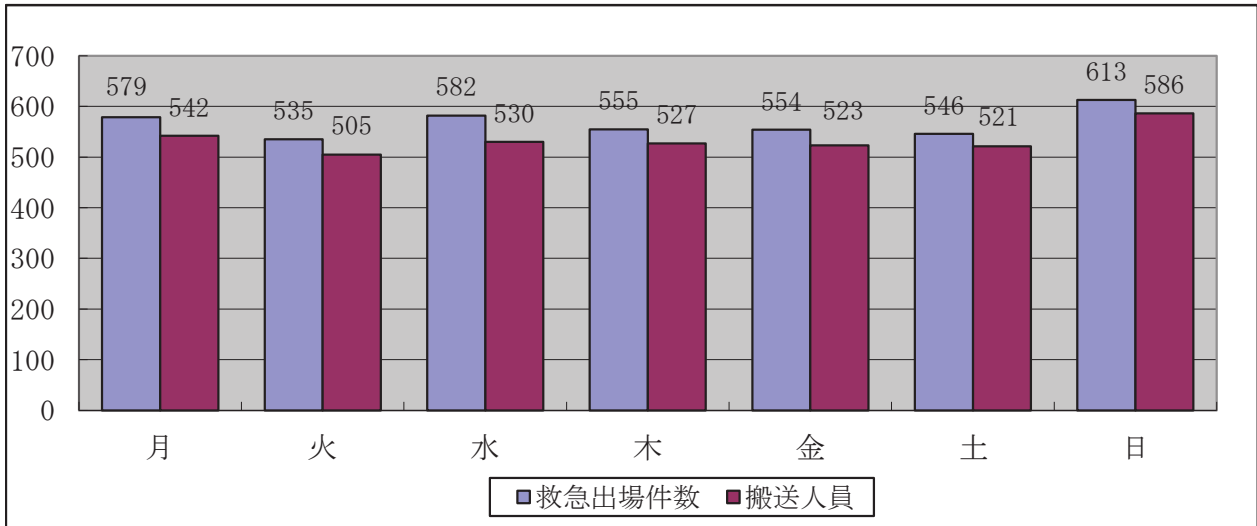
「年」

覚知時刻 事故種別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	計
	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
火災						1		1		1			3
自然災害													0
水難事故			1	1			3		1	1			7
交通事故	2	3	5	22	42	41	36	39	45	24	9	9	277
労働災害		1			6	8	7	6	4			1	33
運動競技					4	7	5	5	5	2	1		29
一般負傷	9	10	30	60	91	93	61	57	77	54	37	27	606
加害	3	1	2					1	1			2	10
自損行為	2		1	1	1	3	2	5	3	1	4	1	24
急病	119	88	119	214	296	292	255	231	224	230	233	152	2453
その他	3	1	5	4	50	61	53	42	39	17	11	6	292
計	138	104	163	302	490	506	422	387	399	330	295	198	3734

### 23 曜日別救急出場件数及び搬送人員

「年」

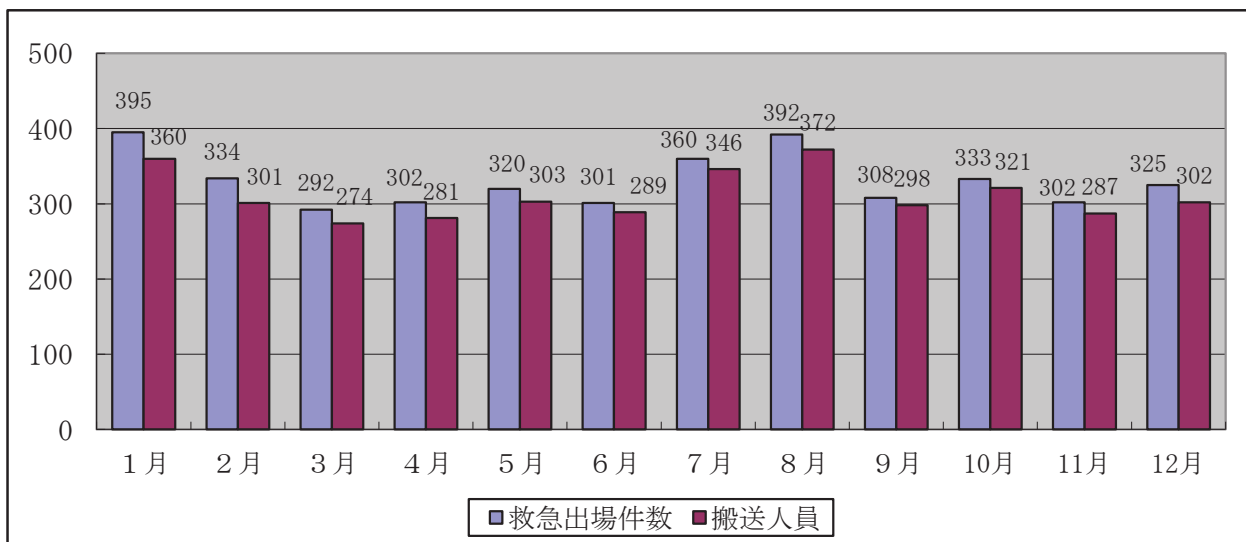
	月	火	水	木	金	土	日	計
出場件数	579	535	582	555	554	546	613	3,964
搬送人員	542	505	530	527	523	521	586	3,734



### 24 月別救急出場件数及び搬送人員

「年」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出場件数	395	334	292	302	320	301	360	392	308	333	302	325	3,964
搬送人員	360	301	274	281	303	289	346	372	298	321	287	302	3,734



## 25 医療機関別搬送人員の状況

「年」

	医療機関					その他の場所	計
	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所		
告示	317	14	2,811	417			3,559
非告示	1	4		94	33	43	175
計	318	18	2,811	511	33	43	3,734

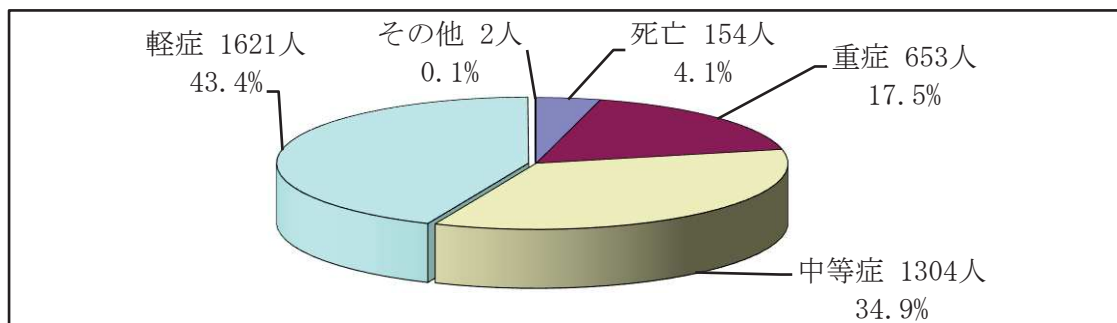
### 医療機関の分類

- 1 「国立」とは開設者が国（公社、労働者健康福祉機構、独立行政法人等を含む）であるもの。
- 2 「公立」とは開設者が都道府県、市町村及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの。
- 3 「公的」とは開設者が次の者であるもの。
  - (1) 国民健康保険法（昭和33年法律第192号）第83条に規定する国民健康保険団体連合会及び国民健康保険法施行法（昭和33年法律第193号）第2条の規定により、国民健康保険法の施行後も引き続き国民健康保険を行う普通国民健康保険組合
  - (2) 日本赤十字社
  - (3) 社会福祉法人恩賜財団済生会
  - (4) 全国厚生農業協同組合の会員である厚生（医療）農業協同組合連合会
  - (5) 社会福祉法人北海道社会事業協会
- 4 「その他の場所」とは接骨院等及びヘリポートを含む。

## 26 事故種別傷病程度別搬送人員

「年」

事故種別	傷病程度					合計
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
火災			1	2		3
自然災害						0
水難事故			3	4		7
交通事故	2	22	55	197	1	277
労働災害		10	11	12		33
運動競技		1	2	26		29
一般負傷	4	166	138	298		606
加害			1	9		10
自損行為	6	6	6	6		24
急病	136	351	932	1,033	1	2,453
転院搬送	6	97	155	34		292
その他						0
合計	154	653	1,304	1,621	2	3,734
構成比	4.1	17.5	34.9	43.4	0.1	100.0

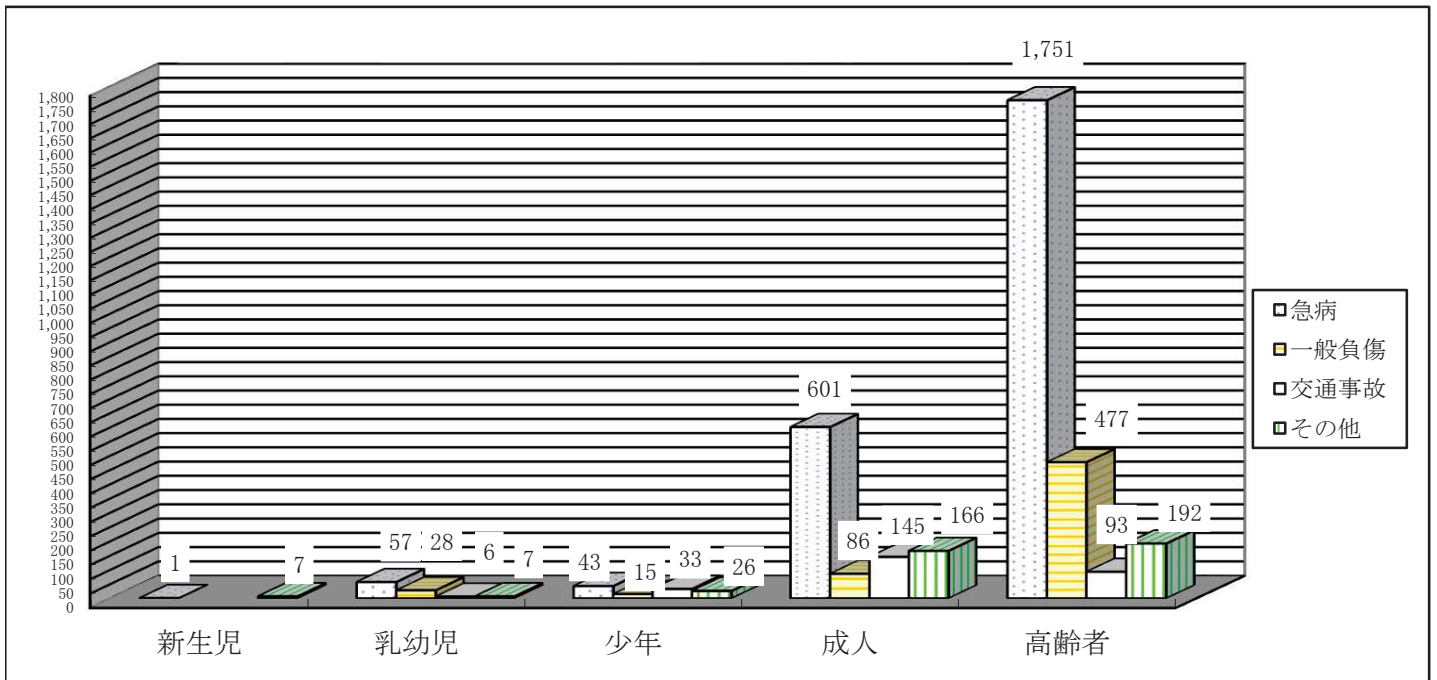


## 27 年齢区分別事故種別搬送人員の状況

「年」

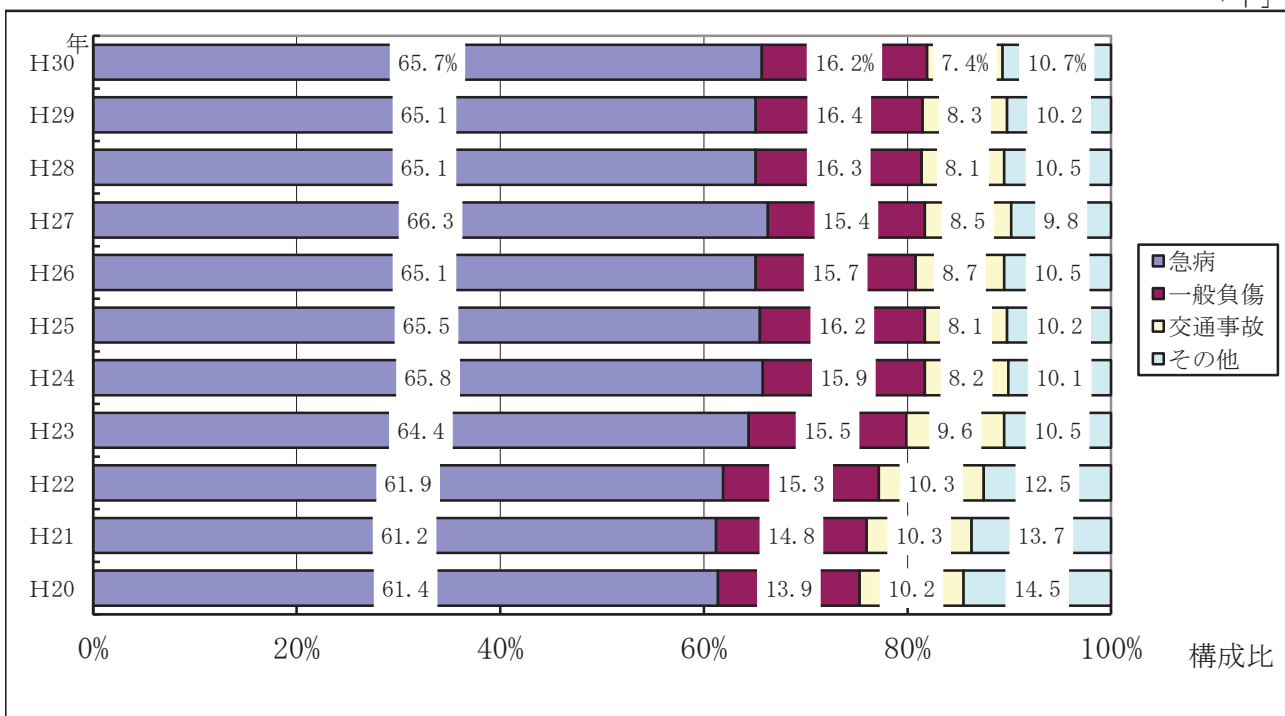
	急病	一般負傷	交通事故	その他	計
新生児	1			7	8
乳幼児	57	28	6	7	98
少年	43	15	33	26	117
成人	601	86	145	166	998
高齢者	1,751	477	93	192	2,513
計	2,453	606	277	398	3,734

新生児:生後28日未満の者  
 乳幼児:生後28日以上満7歳未満の者  
 少年:満7歳以上満18歳未満の者  
 成人:満18歳以上満65歳未満の者  
 高齢者:満65歳以上の者



## 28 事故種別搬送人員構成比の推移

「年」

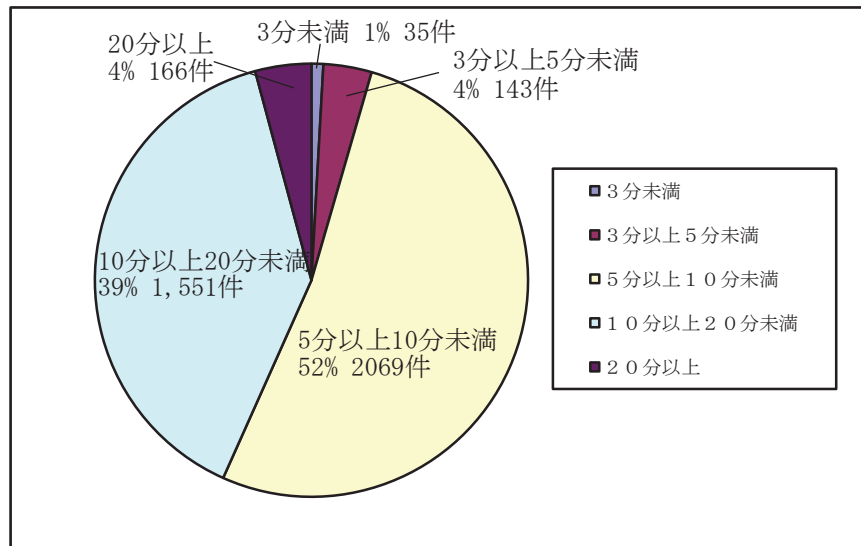


## 29 現場到着所要時間別出場件数

「年」

現場到着時間 (分)	件
3分未満	35
3分以上5分未満	143
5分以上10分未満	2,069
10分以上20分未満	1,551
20分以上	166
計	3,964

現場到着所要時間 (分)		
最短	最長	平均
1	67	10.3

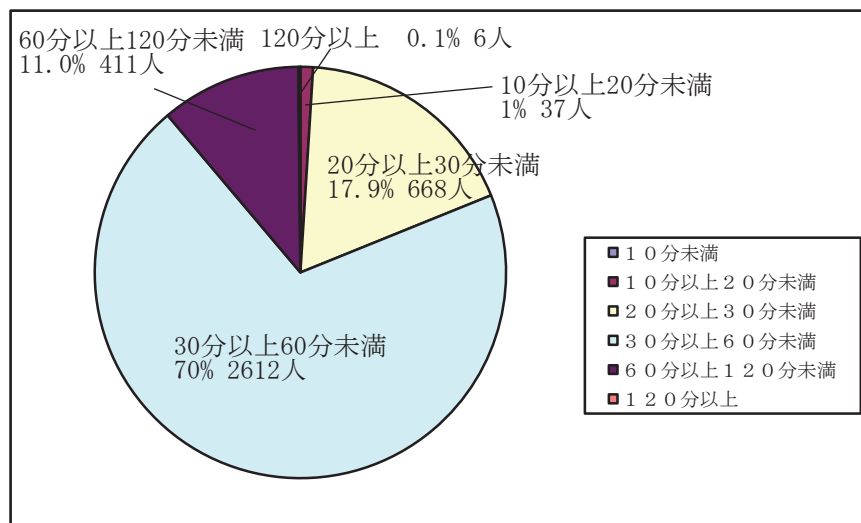


## 30 収容所要時間別搬送人員

「年」

収容所要時間 (分)	人
10分未満	
10分以上20分未満	37
20分以上30分未満	668
30分以上60分未満	2,612
60分以上120分未満	411
120分以上	6
計	3,734

収容所要時間 (分)		
最短	最長	平均
13	164	42.9



31 救急隊員の行った応急処置件数

「年」

種別・処置対象搬送人員 処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
	2,453	275	606	396	3,730
止血	32	22	97	20	171
固定	8	143	68	28	247
人工呼吸	37	1	3	2	43
酸素吸入	868	38	70	118	1,094
保温	2,300	195	543	364	3,402
被覆	19	73	169	35	296
心マッサージ					0
心肺蘇生	116	2	4	9	131
うち自動式心マッサージ器	78	1	2	5	86
在宅療法継続	140	1	22	10	173
ショックパンツ					0
血圧測定	2,296	266	584	363	3,509
心音・呼吸音聴取	1,091	184	145	103	1,523
血中酸素飽和度測定	2,340	274	600	383	3,597
心電図伝送等	2,334	182	475	304	3,295
気道確保（用手）	195	3	14	12	224
うち経鼻エアウェイ	1				1
うち喉頭鏡、鉗子等	3		3		6
○ うちラリングアルマスク等	48		2		50
○ 気管挿管					0
除細動	10				10
静脈路確保					
○ CPA前	19	1	2	4	26
○ CPA後	74	1	3	2	80
○ 薬剤投与	25		3		28
血糖測定	43				43
○ ブドウ糖投与	6				6
その他	2,303	224	559	301	3,387
計	14,256	1,610	3,361	2,058	21,285
うち医師の指示等を必要とする 応急処置の件数	172	2	10	6	190

- ※ 1 本表は傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った応急処置について、その処置の対象となった傷病者の数及び処置件数を計上したものである。  
 2 ○は医師の指示等を必要とする応急処置の項目である。  
 3 その他の処置とは、検温、嘔吐処置、清拭等他に分類されないものである。

### 32 救急救命士の救急自動車搭乗状況

「年」

区分	件数および搭乗率
全救急出場件数 A	3,964
全体における救命士搭乗件数 B	3,961
全体における救命士の搭乗率 B / A	99.9%

参考  
平成30年12月31日現在  
※救急救命士27名

※ 救急救命士の資格を有している消防職員39名のうち、救急救命士として業務を行っている救急隊員

### 33 応急手当普及啓発活動状況

「年」

区分	普通救命講習					上級救命講習	救命入門	普及員講習 I	普及員再講習	指導員講習 II	その他の講習	計
	I			II	III							
	I	e-ラーニング	ステップアップ									
講習回数	41 (8)	4	1		8	2	43	4	5	3	58 (34)	169 (42)
受講者数	793 (127)	43	1		264	34	1116	53	64	9	1730 (1040)	4107 (1167)

※ ( ) は普及員による講習回数と受講者数

### 34 管内医療機関数

「平成31. 4. 1」

医療機関数														
救急告示医療機関					その他の医療機関					計				
国立	公立	公的	私 立		国立	公立	公的	私 立		国立	公立	公的	私 立	
			病院	診療所				病院	診療所				病院	診療所
1		1	1		1	7		2	59	2	7	1	3	59
小 計			3		小 計			69		計			72	

### 35 救助活動件数

「年」

事故種別 区分	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外											
出場件数			45	6			2					20	73
活場件数			9	4			1					11	25
救助人員			9	5			1					8	23

### 36 月別救助出場件数

「年」

事故種別 月別	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外											
1月			7									1	8
2月			8									2	10
3月			3									2	5
4月			4										4
5月			5									2	7
6月							1					2	3
7月			2	1								1	4
8月			3	3								5	11
9月			4									4	8
10月			2	2									4
11月			3									1	4
12月			4				1						5
計			45	6			2					20	73



### 37 市町村別救助出場件数

「年」

区分	事故種別		火災 建物 建物以外	交通 事故	水 難 事故	風 水 害 等	自 然 事 故	機 械 に よ る	事 故	建 物 に よ る	事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の	事 故	計
	建物	建物以外															
柏崎市				38	5			1								19	63
刈羽村				4													4
出雲崎町				1	1			1								1	4
管外				2													2
計				45	6			2								20	73

### 38 市町村別救助出場件数過去5年間の推移

「年」

市町村別	区分	26年	27年	28年	29年	30年
柏崎市	出場件数	57	56	58	60	63
	活動件数	22	21	24	22	20
刈羽村	出場件数	6	1	8	4	4
	活動件数	4		1	1	2
出雲崎町	出場件数	4	3	5	5	4
	活動件数	2	2	3	3	3
管外	出場件数	4	6	4	3	2
	活動件数			1		
計	出場件数	71	66	75	72	73
	活動件数	28	23	29	26	25

### 39 救助訓練実施状況

「年」

区分	訓練内容	水 難 訓 練	山 岳 訓 練	ロ ー プ 基 本	応 用 訓 練	検 索 救 助 訓 練	各 種 救 助 機 器	取 扱 訓 練	各 種 救 助 事 象	想 定 訓 練	そ の 他 の 訓 練	計
実施延回数		40		50	150	180		36		250		706
実施延人員		500		200	1,300	900		288		1,200		4,388
実施延時間		80		100	300	270		72		375		1,197

40 救助器材保有状況

「平成31. 4. 1」

一般救助用器具		隊員保護用器具	
かぎ付き梯子	5	耐電手袋	17
三連梯子	13	耐電衣	2
ワイヤー梯子	1	耐電ズボン	2
空気式救助マット	1	耐電長靴	2
救命索発射銃	1	防塵メガネ	149
救助用縛帯	8	携帯警報機	5
平担架	3	防毒マスク	308
重量物排除用器具		化学防護服（陽圧式除く）	14
油圧ジャッキ	3	陽圧式化学防護服	4
油圧スプレッダー	5	耐熱服	6
可搬ウィンチ	6	水難救助用器具	
マンホール救助器具	1	潜水器具	11
マット型空気ジャッキ	2	救命胴衣	73
大型油圧スプレッダー	3	水中投光器	10
救助用支柱器具	0	救命浮環	13
切断用器具		浮標	2
油圧切断機	5	救命ボート	2
エンジンカッター	3	船外機	3
ガス溶断器	1	ドライスーツ	12
チェーンソー	11	ウェットスーツ	16
鉄線カッター	4	山岳救助用器具	
空気鋸	1	登山器具	5
大型油圧切断機	3	バスケット型担架	7
空気切断機	1	パーティカルストレッチャー	1
破壊用器具		スケッドストレッチャー	3
万能斧	20	シットハーネス	10
ハンマー	6	ヘリハーネス	1
携帯用コンクリート破壊器具	1	ロープレスキュー器具	2
削岩機	1	高度救助用器具	
ハンマドリル	1	簡易画像探索器	1
ドアオープナー	1	地中音響探知機	1
検知・測定用器具		熱画像直視装置	2
可燃性ガス測定器	6	夜間用暗視装置	1
有毒ガス測定器（検知管式）	1	その他の救助用器具	
酸素濃度測定器	6	携帯投光器	18
呼吸保護用器具		車両移動器具	1
空気呼吸器	92	緩降機	4
酸素呼吸器	5	グラスマスターツール	10
簡易呼吸器	35	発動発電機（500w）	22
防塵マスク	10	発動発電機（1.5kw）	3
送排風機	1	発動発電機（3kw）	1
エアラインマスク	1	エアーテント	2

41 原子力防護資機材保有状況（新潟県から借受）

「平成31. 4. 1」

配置場所		本部 署	西 分署	高柳 分遣所	西山 分遣所	出雲崎 分遣所	計
内 訳	サーベイメーター (収納ケース付)	69	2	2	2	2	77
	電離箱式7 シンチレーション式1 GM式12						
	デジタル式警報線量計	83	20	10	20	10	143
	防護服(タイベック)	369	20	10	20	10	429
	防護マスク	83	20	10	20	10	143
	防護靴	100	20	10	20	10	160
	オーバーシューズ	369	20	10	20	10	429
	アノラック(上・下)	572	20	10	20	10	632
手袋(打)	ゴム製	316	2	2	2	2	324
	布製	210	2	1	2	1	216
	汚染防護シート	7					7
	ドライキャビネット	2	1		1		4
	スチール書庫	2		1			3
	空気呼吸器	23	9		5		37
	空気呼吸器用ボンベ	54	10		10		74
	高圧エアコンプレッサー	1					1
	放射線防護服	15			5		20
	除染シャワーテント	1					1
	ノートパソコン	1					1
	デジタルカメラ	1					1
	広報車兼資機材搬送車	1					1
無 線 機	車載用無線	1					1
	可搬型携帯無線	4	1		1		6
	携帯無線	23	2	2	2	2	31

## 42 気象状況

(1) 月別気象状況 (観測場所・消防本部)

「年」

月 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	累計
平均気圧 (hpa)	1,014.6	1,016.9	1,018.0	1,013.6	1,010.3	1,007.6	1,008.4	1,007.4	1,011.5	1,014.8	1,019.4	1,018.9	1,013.4	
平均湿度 (%)	86.4	82.2	73.4	75.5	75.8	76.9	75.8	78.6	85.0	79.2	84.2	80.9	79.5	
最小湿度 (%)	50.2	38.6	24.7	18.8	17.5	36.6	29.4	31.1	36.1	35.0	31.3	40.5		
平均風速 (m/s)	4.1	3.0	2.1	2.1	2.0	1.6	1.6	1.6	1.3	2.2	1.6	3.8	2.2	
最大風速 (m/s)	29.3	27.2	26.0	23.1	18.6	15.3	21.3	17.2	25.9	29.3	24.1	24.4		
平均気温 (°C)	1.9	2.0	7.0	12.7	17.1	21.2	27.5	26.6	21.7	17.2	11.4	6.2	14.5	
最高気温 (°C)	12.3	11.0	21.4	26.5	31.1	35.1	38.7	38.6	34.3	35.9	22.9	21.6		
最低気温 (°C)	-5.3	-3.3	-1.1	1.4	7.0	11.7	20.8	16.2	14.1	7.7	2.7	-0.2		
降水量 (mm)	389.5	193.0	90.5	89.0	139.5	44.0	31.0	304.5	261.0	111.5	183.0	304.5		2,141.0
降雪量 (cm)	168.0	163.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0		333.0
快晴	-	-	5	5	7	9	7	1	1	4	2	1		42
晴	2	6	7	6	9	5	14	13	9	7	6	3		87
曇	10	11	11	14	11	14	7	13	16	16	14	12		149
雨	8	1	8	5	4	2	3	4	4	4	8	12		63
雪	11	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3		24

備考

最高気温 38.7 °C 7月29日 11:36  
 最低気温 -5.3 °C 1月15日 4:23  
 最大風速 29.3 m/s 1月9日 12:37 10月7日 4:20  
 最小湿度 17.5 % 5月6日 10:32

## (2) 過去5年間の気象状況（観測場所・消防本部）

「年」

年 区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平均
平均気圧 (hpa)	1,013.1	1,013.2	1,013.5	1,012.5	1,013.4	1,013.1
平均湿度 (%)	76.6	77.9	77.0	78.7	79.5	77.9
最小湿度 (%)	13.0	14.1	5.0	15.8	17.5	
平均風速 (m/s)	2.3	2.2	2.0	2.4	2.2	2.2
最大風速 (m/s)	30.4	31.6	31.3	29.0	29.3	
平均気温 (°C)	13.6	14.2	14.5	13.7	14.5	14.1
最高気温 (°C)	35.2	38.8	37.0	38.6	38.7	
最低気温 (°C)	-5.3	-2.9	-5.1	-3.1	-5.3	
降水量 (mm)	2,274.0	1,741.0	1,958.0	2,354.0	2,141.0	2,093.6
降雪量 (cm)	293.0	63.0	238.0	130.0	333.0	211.4

# 消 防 団

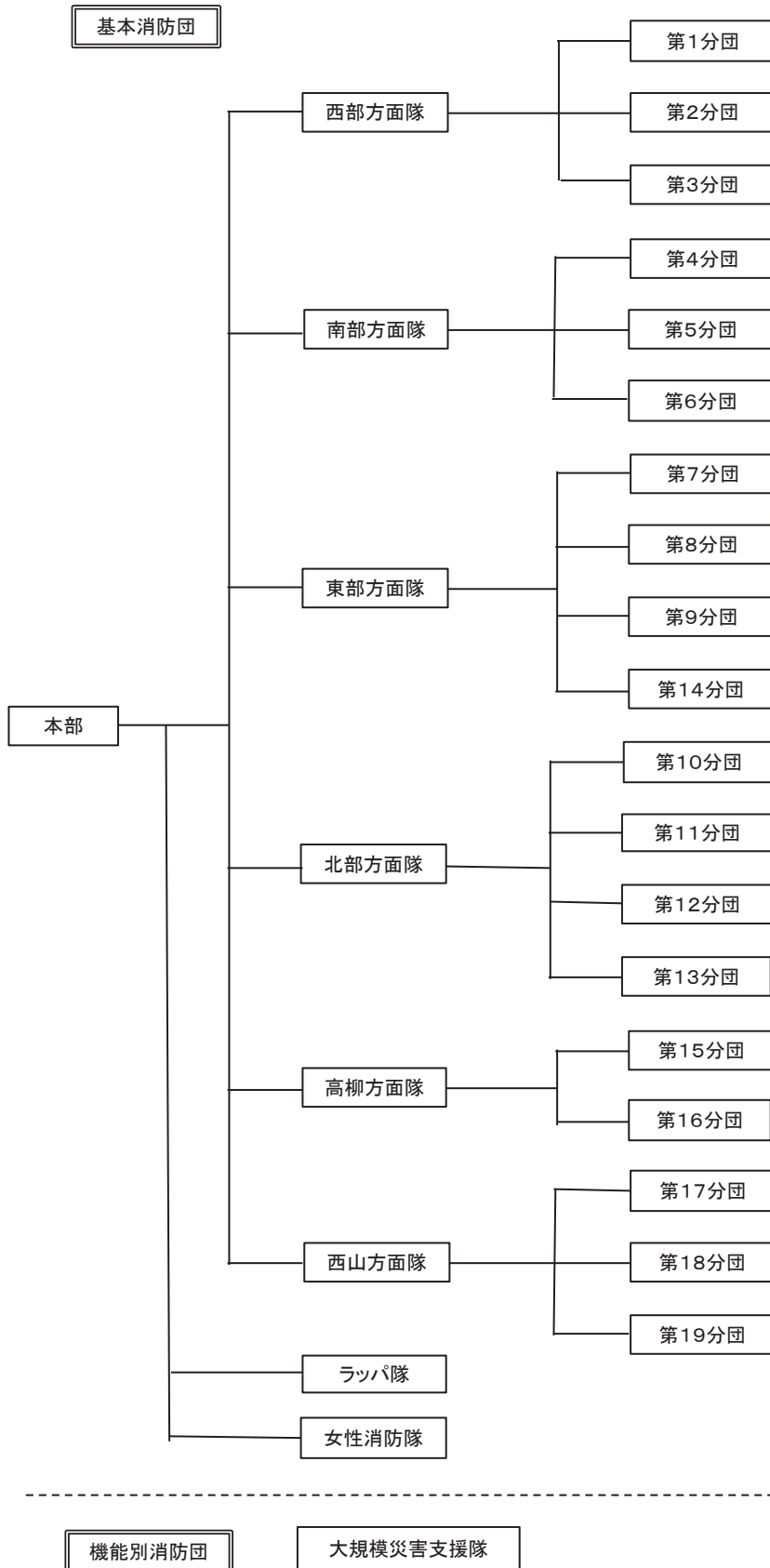
# 1 歴代消防団長

## 柏崎市消防団

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	布施宗一	昭22. 12. 17	昭25. 8. 4	昭和22. 12. 7 柏崎市消防団結成
二代	笠木恭平	昭25. 8. 10	昭30. 5. 24	
三代	西川善吉	昭30. 6. 8	昭31. 1. 27	
四代	海津善四郎	昭31. 1. 28	昭34. 5. 8	
五代	品田三勇司	昭34. 5. 9	昭39. 3. 31	
六代	木村辰二	昭39. 4. 1	昭41. 1. 13	
七代	高橋久晴	昭41. 1. 14	昭44. 4. 25	
八代	石黒明治郎	昭44. 6. 10	昭55. 3. 31	
九代	竹田修治	昭55. 4. 1	昭59. 3. 31	
十代	長谷川吉夫	昭59. 4. 1	平3. 3. 31	
十一代	岡村実	平3. 4. 1	平11. 3. 4	
十二代	山田順榮	平11. 3. 10	平16. 3. 31	
十三代	品田汎朗	平16. 4. 1	平24. 3. 31	H17. 5. 1高柳町、西山町と合併
十四代	竹内悦夫	平24. 4. 1	平25. 3. 31	
十五代	入澤哲郎	平25. 4. 1	平29. 3. 31	
十六代	吉田喜一郎	平29. 4. 1		

## 2 消防団組織図

「平成31. 4. 1」





### 3 消防団員調

(単位：人) 「平成31. 4. 1」

階級別	基本消防団							機能別団員	計
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員		
団員数	1	6	21	21	35	83	1221	20	1,408
(女性団員)			(1)	(1)			(47)		(49)
(学生団員)							(男15・女22)		(37)

条例定数：1,478

### 4 消防団員報酬及び費用弁償の状況

(単位：円) 「平成31. 4. 1」

階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	106,000	70,000	51,000	37,000	32,000	25,000	22,000

費用弁償種別	火災・風水害・警戒活動	4時間以内	3,000
		4時間を超え6時間以内	4,500
		6時間を超え8時間以内	6,000
		8時間を超えた場合	超過に応じた額
	会議・訓練・予防業務等	1回につき	3,000

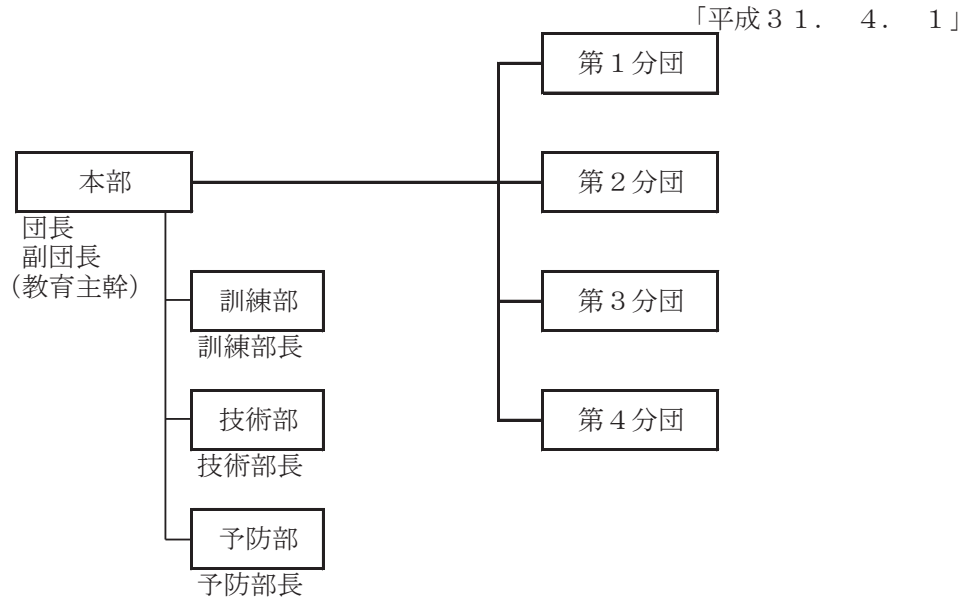
### 5 消防団車両の状況

「平成31. 4. 1」

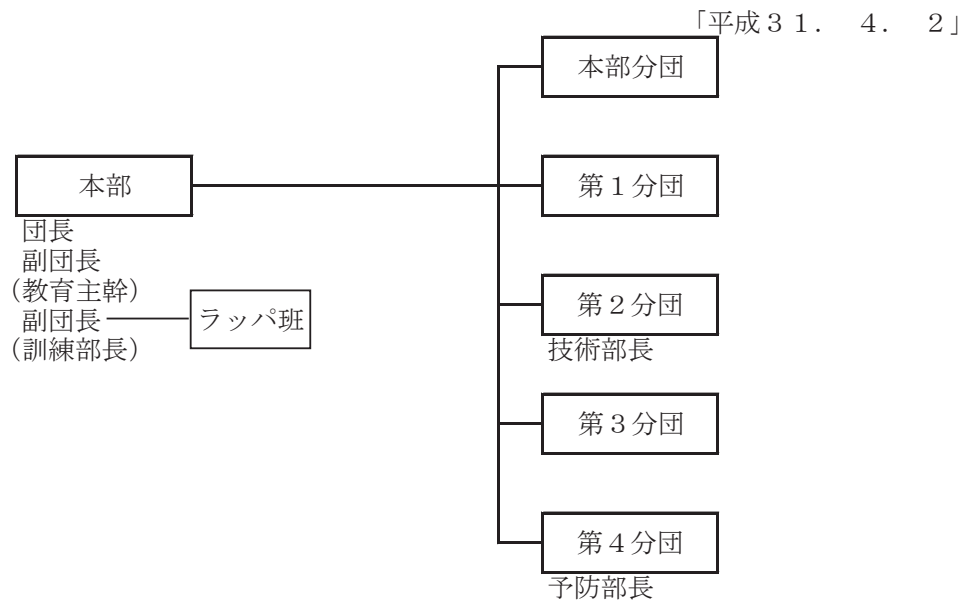
種別	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	その他
台数	0	88	1 (防災活動車)

6 管内町村の消防団組織図

出雲崎町



刈羽村



# 消 防 年 報

---

令和元（2019）年 7月

発行 柏崎市消防本部

〒945-0034 柏崎市三和町8番51号

T E L 0257-(24)1500

F A X 0257-(24)1119

---